

はじめに

この度は書家の筆SF-800をご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品は筆文字の印刷物を作成するためのアプリケーションです。印刷物作成作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書にしたがってお取り扱いいただきますようお願い申し上げます。

ご注意

1. このソフトウェアの著作権は、日本国 マックス株式会社にあります。
2. ソフトウェアは、コンピュータ1台につき1セット購入が原則です。
3. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製、レンタルすることはできません。
4. このソフトウェアおよびマニュアルは、このソフトウェアのインストール時に行なう使用許諾契約のもとでのみ使用する事が出来ます。
5. パソコンに保存した内容は永久的な保存はできません。故障・修理などに起因するデータ消失による損害ならび逸失利益については責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
6. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更する事があります。
7. 本取扱説明書に提示されている資料に依拠したために生じた損害(間接的損害を含む)に対しては、出版物に含まれる誤植、その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。
8. このマニュアルで作成するサンプルに表示されている団体名・人名は架空のもので実在する団体・個人とは一切関係ありません。

動作環境

| | |
|----------|---|
| 対応OS | Windows 7/8/8.1/10 |
| CPU/メモリ | 上記OSが正常に動作し、OSが推奨する環境以上 |
| ディスクドライブ | CD-ROMが読み込めるドライブ |
| USBポート | プロテクトキーによりパソコン本体のUSBポートを1つ使用します。 |
| ハードディスク | 300MB以上の空き容量 (ディスク内に保存するデータ量によっては、これ以上必要となります) |
| ディスプレイ | 解像度:1024×768ドット以上 色数:TrueColor以上 |

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe illustratorは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

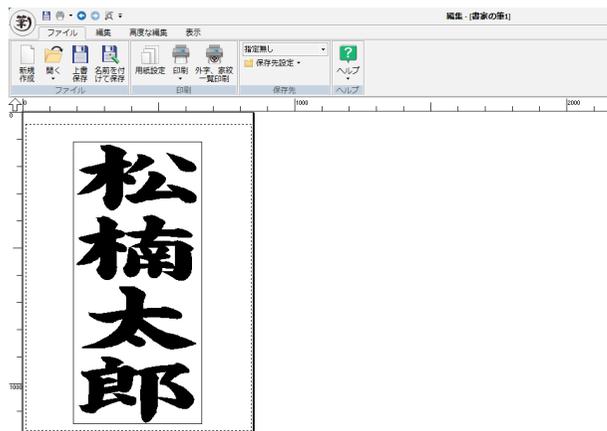
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

書家の筆でできること

書家の筆を使い始めていただく前に、書家の筆でできることをご紹介します。

オリジナルでレイアウトを作成して、表示物を作成する

自由な位置に文字枠を作成して、表示物を作成することができます。



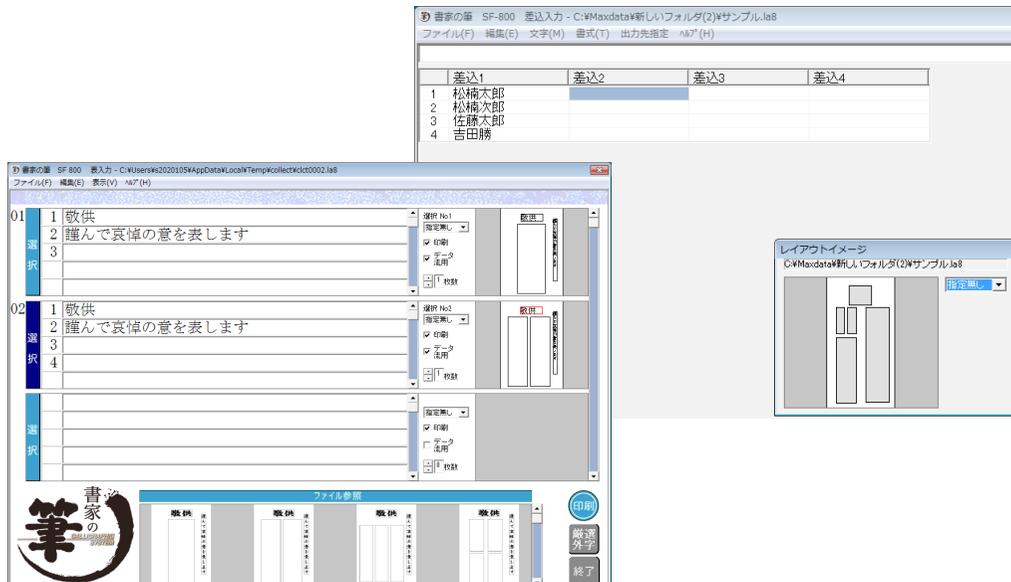
外字を使用する

新機能の関連文字検索で外字がより使いやすくなりました。



効率的に表示物を作成する

テキストデータの差込や連続して複数レイアウトを作成する事で、作業時間を短縮することができます。



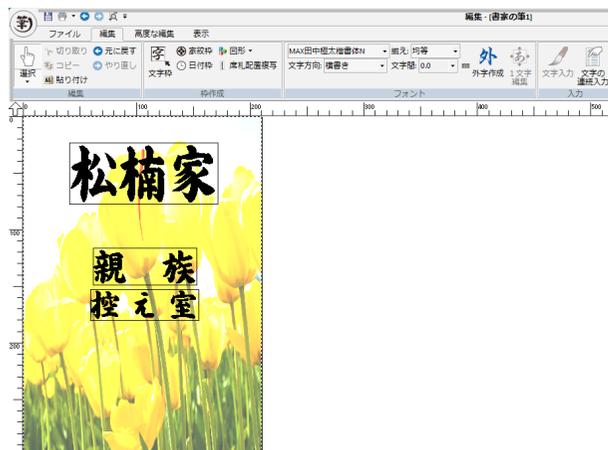
画像の編集をおこなう

読み込んだ画像を切り取ったり、ボカシたりすることで、見栄えのよい表示物を作成することができます。



レイアウトした画面を画像変換する

編集画面でデザインした画面を画像データ(BMP、JPEG、PNG)に変換して、液晶パネルなどに表示する際に使用することができます。



目次

| | |
|---------------------------|---|
| はじめに | 1 |
| ご注意 | 2 |
| 動作環境 | 2 |
| 書家の筆でできること | 3 |
| オリジナルでレイアウトを作成して、表示物を作成する | 3 |
| 外字を使用する | 3 |
| 効率的に表示物を作成する | 4 |
| 画像の編集をおこなう | 4 |
| レイアウトした画面を画像変換する | 5 |

第1章 準備する

| | |
|--------------------------------------|----|
| 書家の筆のインストール | 12 |
| 一括インストールを行う | 13 |
| 個別インストールを行う | 16 |
| 書家の筆プログラムのインストール | 16 |
| USBプロテクトキーのインストール | 18 |
| パススルードライバ(RP-395T/RP-1000F)をインストールする | 19 |
| USBケーブルの場合 | 20 |
| LANケーブルの場合 | 21 |
| パススルードライバ(RP-970T)をインストールする | 23 |
| アンインストール | 25 |
| 書家の筆のアンインストール | 25 |
| 書体のアンインストール | 27 |
| 書体のインストール | 28 |
| 書体のインストール | 28 |
| 書体のパスワード取得 | 29 |
| 書体パスワードの取得 | 29 |
| 書体パスワードの再確認 | 31 |
| 書体の設定 | 32 |
| 書体パスワードを登録する | 32 |
| 環境設定 | 34 |
| 環境設定を起動する | 34 |
| 初期値の設定を行う | 34 |
| グリッド設定を行う | 34 |
| 画面設定 | 35 |
| フォルダ設定を行う | 35 |
| これまで作成した外字、家紋データを読み込む | 36 |

| | |
|---|----|
| ユーティリティの各機能について | 37 |
| ファイル管理 | 37 |
| バージョン情報(フォント) | 37 |
| バージョン情報(システム) | 37 |
| ファイルの更新(ファイル単位/フォルダ単位) | 38 |
| 旧バージョンの書家の筆で作成したレイアウトファイルをSF-800用レイアウトファイルに更新する | 38 |
| レイアウトファイルに登録されているプリンタや書体を変更する | 39 |
| 用紙サイズの一括変換 | 41 |
| 文字設定 | 41 |
| バックアップ | 42 |
| バックアップをとる | 42 |
| バックアップデータを読み込む | 43 |
| ユーティリティの終了 | 43 |

第2章 レイアウト編集(基本編)

| | |
|----------------|----|
| 書家の筆を起動する | 46 |
| メインメニューを起動する | 46 |
| 各メニューの紹介 | 46 |
| 操作画面 | 47 |
| 画面モード | 47 |
| リボンモード | 47 |
| クラシックモード | 48 |
| 画面モードの切り換え方法 | 49 |
| 機能説明 | 50 |
| レイアウトを作成する | 54 |
| 新規編集する用紙を作成する | 54 |
| 供物札を作成する | 56 |
| 文字枠を作成する | 56 |
| 枠の整列 | 57 |
| 左右中央揃え | 57 |
| 横サイズ揃え・縦サイズ揃え | 57 |
| 上揃え | 58 |
| 文字入力 | 59 |
| 文字枠へ文字の連続入力をする | 60 |
| 厳選外字を入力する | 61 |
| 看板を作成する | 63 |
| 文字枠を作成する | 63 |
| 編集で文字枠を追加する | 64 |
| 文字入力 | 64 |
| 外部データを取り込む | 65 |
| 家紋枠 | 66 |
| 日付枠 | 67 |

| | |
|--------------------|----|
| 外字を作成する | 68 |
| 作成したい外字に近い漢字を呼び出す | 68 |
| 外字を編集する | 70 |
| 作成した外字を保存する | 74 |
| 共有外字として保存する | 75 |
| 外字編集の機能について | 76 |
| 外字の共有化 | 81 |
| 共有外字より使用したい外字を検索する | 81 |
| 使用したい外字をコピーする | 82 |
| 共有家紋をコピーする | 82 |
| レイアウトを保存する | 83 |
| 名前を付けて保存する | 83 |
| 上書き保存する | 83 |
| 印刷レイアウトをすべて保存する | 83 |
| 保存するレイアウトを呼び出す | 84 |
| ファイルを開く | 84 |
| レイアウトを印刷する | 85 |
| 印刷設定画面を表示する | 85 |
| 印刷設定を行う | 85 |
| 印刷を実行する | 86 |

第3章 レイアウト編集(機能説明編)

| | |
|------------------------|----|
| ファイル | 88 |
| 1-1 ファイル | 88 |
| 開く | 88 |
| 1-2 印刷 | 88 |
| 用紙設定 | 88 |
| 一覧印刷を行う | 91 |
| 1-3 保存先 | 92 |
| 保存先フォルダを作成する | 92 |
| 印刷前に保存先フォルダを選択する | 93 |
| 印刷を実行して、レイアウトファイルを保存する | 93 |
| 1-4 ヘルプ | 93 |
| 編集 | 94 |
| 2-1 編集 | 94 |
| 2-2 枠作成 | 94 |
| 席札配置複写機能を使う | 95 |
| 2-3 フォント | 97 |
| 外字作成 | 97 |
| 1文字編集 | 97 |
| 2-4 入力 | 98 |
| 2-5 整列 | 98 |

| | |
|-----------|-----|
| 高度な編集 | 101 |
| 3-1 枠情報 | 101 |
| 3-2 画像 | 101 |
| 画像を編集する | 102 |
| 背景画像を作成する | 105 |
| 3-3 ページ背景 | 106 |
| 3-4 外部データ | 106 |
| リストファイル | 107 |
| 差込ファイル | 108 |
| イメージ出力 | 109 |
| 読込み | 110 |
| インポート | 110 |
| エクスポート | 110 |
| 表示 | 111 |
| 4-1 表示 | 111 |
| グリッド | 111 |
| 中心線表示 | 111 |
| 山形枠 | 111 |
| 4-2 ウィンドウ | 112 |
| 4-3 切り換え | 112 |
| 表入力 | 112 |
| 4-4 配置 | 112 |
| 4-5 ズーム | 113 |

第4章 その他の機能

| | |
|--------------------|-----|
| 差込印刷をする | 116 |
| 差し込みレイアウトを作成する | 116 |
| 差し込みCSVデータを作成する | 117 |
| 差込印刷を起動する | 117 |
| 差込内容を作成する | 118 |
| 差し込むレイアウトファイルを読み込む | 119 |
| 発行履歴保存を行う | 120 |
| 印刷を行う | 120 |
| 表入力をする | 122 |
| 表入力を起動する | 122 |
| レイアウトを参照する | 123 |
| 文字を入力して印刷を実行する | 124 |
| 一括印刷をする | 126 |
| ミニ印刷をする | 126 |
| 一括印刷をする | 128 |
| 目録印刷をする | 129 |
| CSV出力をする | 131 |

第1章

準備する

| | | | |
|--|----|---|----|
| 書家の筆のインストール | 12 | ユーティリティの各機能について | 37 |
| 一括インストールを行う | 13 | ファイル管理 | 37 |
| 個別インストールを行う | 16 | バージョン情報(フォント) | 37 |
| 書家の筆プログラムのインストール | 16 | バージョン情報(システム) | 37 |
| USBプロテクトキーのインストール | 18 | ファイルの更新 | |
| パススルードライバ(RP-395T/ RP-1000F)をインストールする | 19 | (ファイル単位/フォルダ単位) | 38 |
| USBケーブルの場合 | 20 | 旧バージョンの書家の筆で作成した レイアウトファイルをSF-800用レイアウト ファイルに更新する | 38 |
| LANケーブルの場合 | 21 | レイアウトファイルに登録されている プリンタや書体を変更する | 39 |
| パススルードライバ(RP-970T)を インストールする | 23 | 用紙サイズの一括変換 | 41 |
| アンインストール | 25 | 文字設定 | 41 |
| 書家の筆のアンインストール | 25 | バックアップ | 42 |
| 書体のアンインストール | 27 | バックアップをとる | 42 |
| 書体のインストール | 28 | バックアップデータを読み込む | 43 |
| 書体のインストール | 28 | ユーティリティの終了 | 43 |
| 書体のパスワード取得 | 29 | | |
| 書体パスワードの取得 | 29 | | |
| 書体パスワードの再確認 | 31 | | |
| 書体の設定 | 32 | | |
| 書体パスワードを登録する | 32 | | |
| 環境設定 | 34 | | |
| 環境設定を起動する | 34 | | |
| 初期値の設定を行う | 34 | | |
| グリッド設定を行う | 34 | | |
| 画面設定 | 35 | | |
| フォルダ設定を行う | 35 | | |
| これまで作成した外字、家紋データを 読み込む | 36 | | |

書家の筆のインストール

書家の筆を使用するために必要なインストール作業について説明します。

| | |
|------------------------|--|
| 一括インストール | 書家の筆・プロテクトキー用USBドライバのインストールを続けて行います。(新規購入やPC入れ替えの場合におすすめてです) |
| 書家の筆インストール | 書家の筆プログラムのインストールを行います。 |
| プロテクトキー用USBドライバのインストール | プロテクトキーのインストールを行います。 |
| パススルードライバのインストール | RP-395T/RP-1000Fのパススルードライバのインストールを行います。 |

初めて書家の筆をお使いの場合(新しいパソコンにインストールする場合)

次の作業が必要になります。

- ①書家の筆プログラムのインストール
- ②USBプロテクトキーのインストール

必要に応じて以下の作業も行ってください。

- ③プリンタドライバのインストール
- ④書体のインストール
- ⑤書体の登録

書家の筆を買い換えた場合

次の作業が必要になります。

- ①書家の筆プログラムのインストール
- ②USBプロテクトキーのインストール

必要に応じて以下の作業を行ってください。

- ③書体の登録
- ④旧バージョンの書家の筆からの更新
旧バージョンの書家の筆で作成したレイアウトファイルを更新する。

注意

インストールするには、パソコンの管理者権限が必要です。

一括インストールを行う

書家の筆プログラム、レイアウトファイル、USBプロテクトキーのインストールを一度にインストールします。

- 1 パソコンへCD-ROMをセットします。
- 2 SF-800インストールランチャ画面が起動するので、[一括インストール]をクリックします。

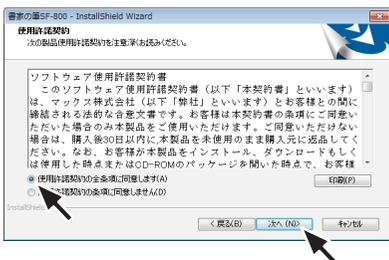


メモ ランチャ画面が起動しない場合、CD内にある「flauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

- 3 書家の筆SF-800のインストールウィザードが起動するので、[次へ]をクリックします。

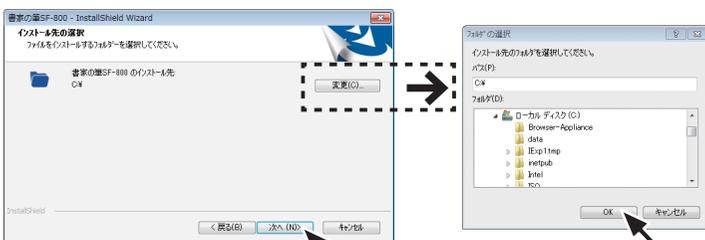


- 4 使用許諾が表示されますので、よく読んでいただいたあとに、[同意します]にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。



- 5 インストール先を決めて、[次へ]をクリックします。

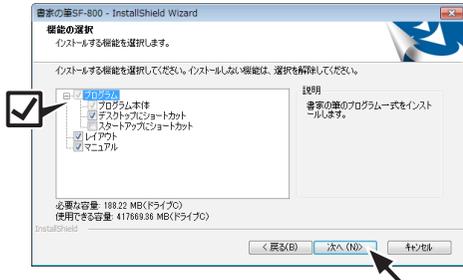
インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックして、変更するインストール先を選択して、[OK]をクリックします。



書家の筆のインストール

6 インストールする機能を選択します。

必要な機能にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。



| | | |
|---------|-----------------|----------------------------|
| プログラム | プログラム本体 | 書家の筆をインストールします。 |
| ショートカット | デスクトップにショートカット | デスクトップにショートカットを作成します。 |
| スタートアップ | スタートアップにショートカット | パソコンを起動時にメインメニューを自動起動させます。 |
| レイアウト | レイアウト | レイアウトファイルをインストールします。 |
| マニュアル | マニュアル | マニュアルをインストールします。 |

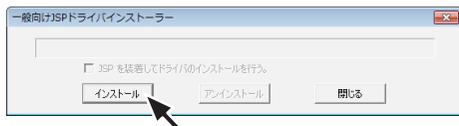
7 入力した設定でよければ、[インストール]をクリックします。



8 [完了]をクリックして、書家の筆プログラムのインストールを完了します。

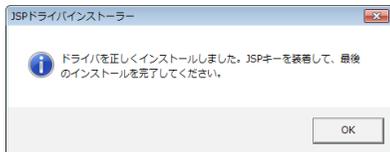


9 続けてUSBプロテクトキー用ドライバをインストールする画面が表示するので、USBプロテクトキーをパソコンに挿入せず、[インストール]をクリックします。

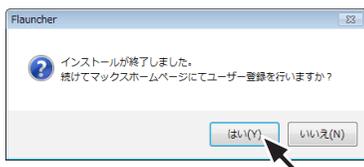


*Windowsセキュリティの画面が起動した場合、[インストールします]を選択してください。

- 10 ドライバのインストールが完了した画面が起動するので、[OK]をクリックして、USBプロテクトキーをパソコンに挿入します。



- 11 書家の筆・USBプロテクトキーのインストールが完了しました。続けてユーザー登録を行う場合は、[はい]を押します。



以上で、一括インストールは完了です。

書家の筆のインストール

個別インストールを行う

書家の筆プログラム、USBプロテクトキー、プリンタドライバのインストールを個別にします。

書家の筆プログラムのインストール

- 1 SF-800インストールランチャ画面が起動するので、[書家の筆インストール]をクリックします。



メモ ランチャ画面が起動しない場合、CD内にある「flauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

- 2 書家の筆SF-800のインストールウィザードが起動するので、[次へ]をクリックします。

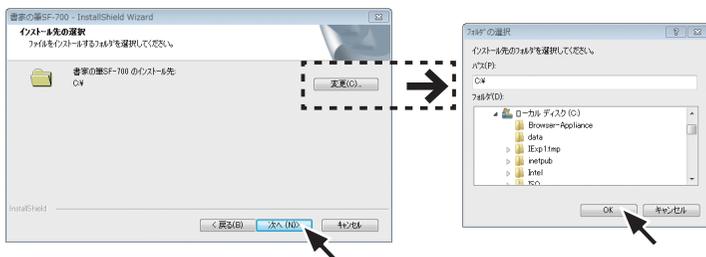


- 3 使用許諾が表示されますので、よく読んでいただいたあとに、[同意します]にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。



4 インストール先を決めて、[次へ]をクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックして、変更するインストール先を選択して、[OK]をクリックします。



5 インストールする機能を選択します。

必要な機能にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

| | |
|-----------------|----------------------------|
| プログラム本体 | 書家の筆をインストールします。 |
| デスクトップにショートカット | デスクトップにショートカットを作成します。 |
| スタートアップにショートカット | パソコンを起動時にメインメニューを自動起動させます。 |
| レイアウト | レイアウトファイルをインストールします。 |
| マニュアル | マニュアルをインストールします。 |

6 入力した設定でよければ、[インストール]をクリックします。



7 [完了]をクリックして、書家の筆プログラムのインストールを完了します。



以上で書家の筆プログラムのインストールは完了です。

書家の筆のインストール

USBプロテクトキーのインストール

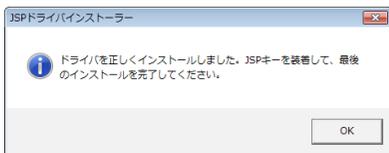
- 1 パソコンへCD-ROMをセットします。
- 2 SF-800インストールランチャ画面が起動するので、[プロテクトキー用USBドライバのインストール]をクリックします。



- 3 ドライバをインストールする場面が表示されるので、USBプロテクトキーをパソコンに挿入せず、[インストール]をクリックします。



- 4 ドライバのインストールが完了した画面が起動したら、[OK]をクリックして、USBプロテクトキーを挿入します。



以上でUSBプロテクトキーのインストールは完了です。

パススルードライバ (RP-395T/RP-1000F) をインストールする

注意

インストールするには、パソコンの管理者権限が必要です。
 パススルードライバでは画像を出力することができません。
 画像を出力したい場合は、プリンタ付属のCDから専用ドライバをインストールしてください。

- 1 RP-395T/RP-1000F本体とパソコンをご使用になるケーブルで接続し、本体の電源を入れます。
- 2 添付のCD-ROMをパソコンにセットします。
 *セットアップ画面が起動する場合は、終了させて下さい。
- 3 SF-800インストールランチャ画面が起動するので、[パススルードライバのインストール]をクリックします。

メモ

ランチャ画面が起動しない場合、CD内にある「flauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

- 4 [ドライバのインストール]をクリックします。



- 5 「機種一覧」から[インストールしたい機種]を選択し、[次へ]をクリックします。



注意

以降の手順を進めるなかで次のようなメッセージが表示されることがあります。
 メッセージが表示されたら[インストールします]または[続行]をクリックします。
 ※本製品は当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので問題なくお使いいただけます。



書家の筆のインストール

USBケーブルの場合

- 1 「USBケーブル」にチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。

※使用OS、パソコン機種に応じて選択可能なもののみ表示されます。

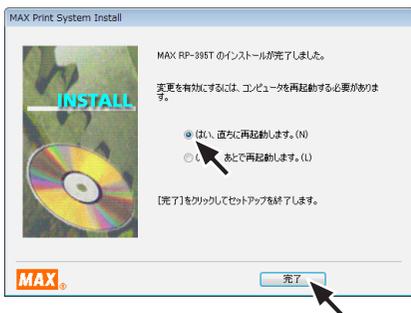


- 2 [インストール] をクリックします。



注意 まだUSBケーブルでパソコンとRP-395T/RP-1000F本体を接続していない場合は、RP-395T/RP-1000F本体の電源をONにし、USBケーブルを接続します。

- 3 「はい、直ちに再起動します」をチェックし、[完了] をクリックします。



- 4 パソコンを再起動し、インストールは終了です。

LANケーブルの場合

- 1 「LANケーブル」にチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

※使用OS、パソコン機種に応じて選択可能なもののみ表示されます。



- 2 [インストール]をクリックします。



- 3 LAN接続用の、ポート名とIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

※IPアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。



注意

RP-395T/RP-1000Fラスタドライバと併用する場合は、ポート名をラスタドライバと異なる名前に設定してください。

書家の筆のインストール

- 4 「はい、直ちに再起動します」をチェックし、[完了]をクリックします。



- 5 パソコンを再起動し、インストールは終了です。

メモ

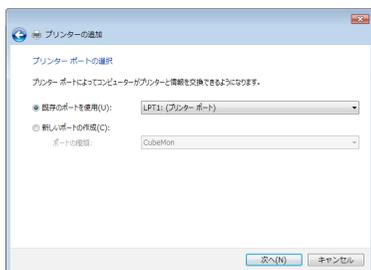
プリンタドライバのインストールが終了し、パソコンを再起動すると、タスクバーにアイコンが表示されます。
このアイコンをダブルクリックすると、ステータスマニタ機能がはたらき、プリンタ本体の状態確認を行なえます。

パススルードライバ(RP-970T)をインストールする

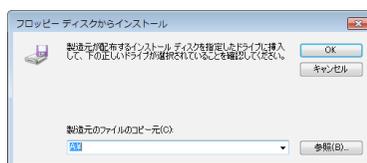
注意

- インストールするにはパソコンの管理者(Administrator)権限が必要です。
- 本説明は、パラレルケーブルで接続する場合のインストール手順となります。プリンタをUSBもしくはLANケーブルで接続する場合は、ラスタドライバをインストールしてプリンタポートを作成し、インストールしたパススルードライバのプリンタポートに設定する必要があります。詳しくは、各プリンタの取扱い説明書に記載されているラスタドライバのインストール手順をご参照ください。

- 1 パソコンへSF-800のCD-ROMをセットします
- 2 パソコンのコントロールパネルを起動して、「デバイスとプリンタ」画面を表示します。
- 3 「プリンタの追加」を選択します。
※Windowsセキュリティが表示された場合は[インストールする]または[インストール]をクリックします。
- 4 「ローカルプリンタを追加します」を選択して、次の画面へ移動します。

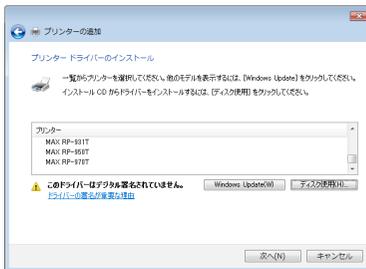


- 5 [ディスクを使用]をクリックして、表示される画面で[参照]をクリックします。

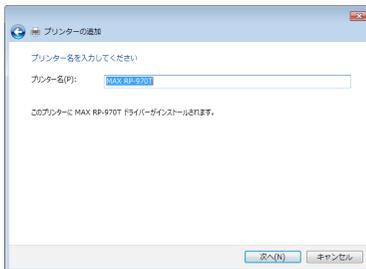


書家の筆のインストール

- 6 CD-ROMの中にある「Driver」フォルダを開いて、
7(32bit版)をお使いの場合は「2K」
7(64bit版)をお使いの場合は「64」
8/8.1(32bit版)をお使いの場合は「8」
8/8.1(64bit版)をお使いの場合は「8×64」
10(32bit版)をお使いの場合は「10」
10(64bit版)をお使いの場合は「10×64」
フォルダにある「MAXRPPAS.INF」ファイルを選択して、[OK]または[開く]をクリックします。



- 7 インストールする機種名[RP-970T]を選択して、[次へ]をクリックします。



- 8 プリンタ名を入力して、[次へ]をクリックします。
- 9 「プリンタの共有をしない」にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
通常使うプリンタの設定を行い完了をクリックします。

以上で、パススルードライバのインストールが完了です。

アンインストール

書家の筆プログラムやオプション書体をアンインストールするには、製品のCD-ROMを使用します。

書家の筆のアンインストール

インストールした書家の筆プログラム、レイアウトファイル、USBプロテクトキーのアンインストールを行います。

1 パソコンへSF-800のCD-ROMをセットします。

※ご使用のOSによって、『このディスクに対して行なう操作を選んでください。』というメッセージが起動する場合があります。起動する画面の「FluncherF.exe」をクリックしてください。

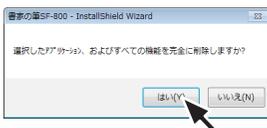
2 SF-800インストールランチャ画面が起動するので、[一括インストール]をクリックします。



3 書家の筆プログラムをアンインストールする画面が表示されるので、「削除」を選択して、「次へ」をクリックします。



4 確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



アンインストール

- 5 アンインストール完了の画面が表示されるので、「再起動する」を選択して、[完了]をクリックします。

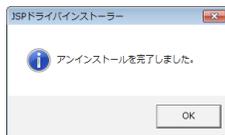


以上で、書家の筆プログラムのアンインストールは完了です。

- 6 続けて、USBプロテクトキーをアンインストールする画面が表示するので、USBプロテクトキーをパソコンに挿入せず、[アンインストール]をクリックします。



- 7 ドライバのアンインストールが完了した画面が起動するので、[OK]をクリックします。



以上で、USBプロテクトキーのアンインストールは完了です。

書体のアンインストール

- 1 パソコンへ書体のCD-ROMをセットします。

個別に購入していただきました書体のアンインストールをおこないます。

- 2 自動再生画面から「SETUP.EXEの実行」をクリックしてください。

メモ

CD-ROMをセットしてもセットアッププログラムが起動しない場合は、CD-ROM内にある「SETUP.EXE」をダブルクリックしてください。

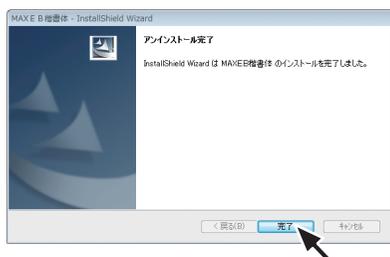
- 3 書体をアンインストールする画面が起動するので、「削除」を選択して、「次へ」をクリックします。



- 4 選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除するかを確認する画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



- 5 アンインストール完了の画面が表示されるので、「完了」をクリックします。



以上で、書体のアンインストールは完了です。

書体のインストール

書家の筆オプション書体を設定する方法について説明しています。

注意

インストールするには、パソコンの管理者権限が必要です。

書体のインストール

オプション書体をインストールをします。詳しいインストール手順は各書体の手順書・マニュアルをご参照ください。

書体のパスワード取得

FT-210N、FT-211N、FT-221Nを使用するには、書体パスワードが必要になります。マックスWebページより、ユーザー登録を行い、書体パスワードを取得してください。

注意

SF-700で書体パスワードを取得している場合でも、SF-800でご使用するには、SF-800用書体パスワードが必要になります。お手数ですが再度、ご登録ください。

書体パスワードの取得

マックスWebページより、お客様登録を行ってください。必要事項へ記入のうえ、登録していただきますと、書体のパスワードが発行されます。

1 マックスWebページにアクセスします。

マックスWebページより、お客様登録ページに入ってください。下記のアドレスからも入ることができます。

HPアドレス http://wis.max-ltd.co.jp/user_regi/

書体のパスワード取得

2 お客様登録を行います。

書体パスワードを取得するためには、お客様登録を行う必要があります。「お客様登録」から、ご使用になる書体を選択して必須事項を記入していただくと、書体のパスワードが発行されます。

| | |
|--------------|--|
| 製品名(必須) | 書家の筆(SF-700F) |
| 製品シリアル番号(必須) | 123456789 例: AA1234567 (半角でご記入ください) |
| 書体情報 | 田中極太楷書体(NFT-210N) 書体認証番号: 1234AaBb |
| | 田中常置楷書体(NFT-211N) 書体認証番号: 5678CcDd |
| | LB楷書体(NFT-221N) 書体認証番号: 9080EeFf |

書体認識番号:
SF-700Fまたは書体のCDケースにシールで表記しています。

書家の筆USBシリアル番号:
USBプロテクトキーの裏面にシールで表記しています。

製品シリアル番号:
ソフト登録書にシールで表記しています。

メモ

書体パスワードの再確認

パスワードがわからなくなった場合に、マックスWebページより、再確認することができます。

1 マックスWebページにアクセスします。

下記のアドレスより、書体パスワード再確認ページに入ってください。

HPアドレス http://wis.max-ltd.co.jp/user_regi/password_remind_sf.html

2 ユーザー登録していただいた書体認証番号、書家の筆用USBプロテクトキーのシリアル番号を入力し、書体パスワードを再確認してください。

メモ

書体認識番号：
書体のCDケースにシールで表記しています。

書家の筆USBシリアル番号：
USBプロテクトキーの裏面にシールで表記しています。

製品シリアル番号：
ソフト登録書にシールで表記しています。

書体の設定

一部の書体を使用するためには、書家の筆を起動し、環境設定から書体の登録を行なってください。書体パスワードが必要な書体は、FT-210N、FT-211N、FT-221Nです。

書体パスワードを登録する

特定の書体 (FT-210N、FT-211N、FT-221N) ごとに、マックスWebページで取得したパスワードを登録する必要があります。

- 1 インストールしたパソコンのデスクトップ画面に、書家の筆アイコンが作成されますので、ダブルクリックで書家の筆メインメニューが起動します。



- 2 メインメニューの[環境設定]をクリックし、環境設定画面を起動します。



- 3 [書体登録]をクリックして、書体の登録画面を起動します。



- 4 書体の登録画面で、登録(使用)したい書体名を選択し、マックスWebページで取得した書体パスワードを入力して、[OK]をクリックします。



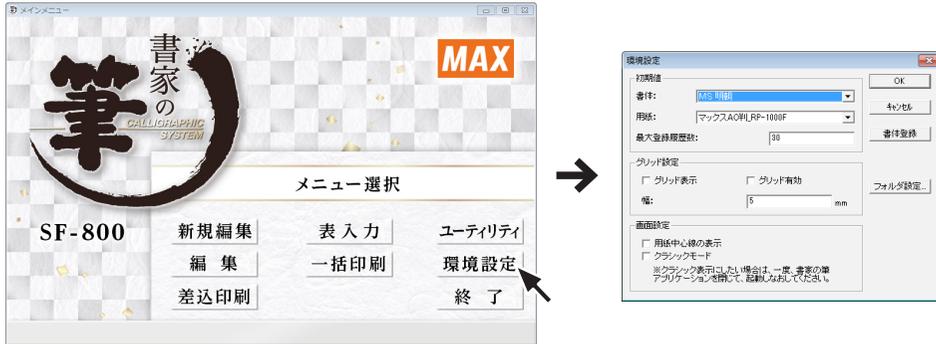
以上で、書体の登録は完了です。

環境設定

書体、用紙サイズ等の初期値設定や、グリッドの設定、書体登録、フォルダ設定を行なってください。

環境設定を起動する

メインメニューから、[環境設定]をクリックすると、環境設定画面が起動します。



初期値の設定を行う

レイアウトで使用する書体、新規にレイアウトを作成する用紙サイズ、レイアウトへ入力した文字の履歴数の初期値を設定します。



| | |
|---------|---|
| 書体 | プルダウンメニューより、レイアウトファイルではじめに使用する書体を選択します。選択できる書体は、マックス専用書体とTrueTypeフォントになります。 |
| 用紙 | プルダウンメニューより、レイアウトファイルではじめに使用する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、書家の筆で登録している用紙サイズです。 |
| 最大登録履歴数 | 数字入力により、レイアウトファイルの文字入力画面で選択できる文字の履歴数を設定できます。 |

グリッド設定を行う

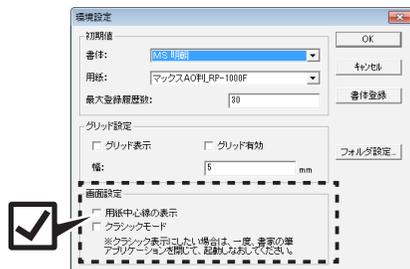
グリッド(レイアウトファイル上に表示させ、目安とする点)の表示有無、グリッドに文字枠等を吸着させる設定の有無、グリッドの間隔の設定を行います。



| | |
|--------|--|
| グリッド表示 | グリッドを表示するかどうかを設定します。チェックボックスにチェックが入っている場合には、グリッドが表示されます。 |
| グリッド有効 | グリッドに吸着するかどうかを設定します。チェックボックスにチェックが入っている場合には、グリッドに吸着します。 |
| 幅 | グリッドの間隔を設定します。 |

画面設定

用紙の中心線を表示有無の設定を行います。



用紙中心線の表示 用紙作図サイズの中心に縦・横のガイド線を表示します。

クラシックモード 旧バージョンの画面レイアウトに変更します。

フォルダ設定を行う

書体ファイル、レイアウトファイル等の、読込先フォルダ、保存先フォルダの設定を行います。

- 1 環境設定画面の[フォルダ設定]をクリックすると、フォルダ設定画面が起動します。



- 2 各フォルダの読込/保存場所の選択は、[参照]をクリックして、読込/保存場所を選択して[OK]をクリックすることで確定します。



環境設定

| | |
|--------------------|--|
| 書体 | インストールした書体ファイル、作成した外字ファイルの読込/保存先の設定を行います。 |
| 家紋 | インストールした家紋データ、作成した家紋ファイルの読込/保存先の設定を行います。 |
| データ読込 | 保存しているレイアウトファイルの読込先の設定を行います。 |
| データ保存 | 作成したレイアウトファイルの保存先の設定を行います。 |
| テキスト出力 | 文字入力画面の、[テキスト出力]をクリックした際のテキストの保存先の設定を行います。 |
| 表入力 | 表入力機能のレイアウト保存/読込先の設定を行いません。 |
| 共有外字 | 共有外字ファイルの読込/保存先の設定を行います。 |
| 発行履歴 保存先 | レイアウトファイルのコピーとレイアウトファイルに入力されている文字データを、レイアウトファイル印刷時に自動保存する先の設定を行います。 |
| CSVファイルを 保存する | レイアウトファイル内の文字枠に入力されている文字データをCSVファイルとして保存する場合、チェックを入れます。 |
| レイアウトファイルを 保存する | レイアウトファイルをコピー保存する場合、チェックを入れます。 |
| 発行履歴保存の 保存期限 | プルダウンメニューより、発行履歴の保存先を参照できる有効期限を選択します。有効期限が経過した場合、自動的に「更新」フォルダへ移動されます。「更新」フォルダは、発行履歴保存先と同じ場所に、自動的に作成されます。 |
| 日で更新 | 作成した発行履歴フォルダが、設定された日数で「更新」フォルダへ移動します。 |
| 1週間で更新 | 作成した発行履歴フォルダが、作成後1週間で「更新」フォルダへ移動します。 |
| 1ヶ月で更新 | 作成した発行履歴フォルダが、作成後1ヶ月で「更新」フォルダへ移動します。 |

3 フォルダ設定画面の[OK]をクリックして、設定を完了します。



これまで作成した外字、家紋データを読み込む

これまで作成した外字や家紋データを、新しいパソコンの書体読込先フォルダまたは家紋読込先フォルダへ移動します。

| 読み込むデータ | ユーザー作成外字 | ユーザー作成家紋 |
|----------|--|---|
| 保存先 | 環境設定の「フォルダ設定」内にある「書体」項目欄で設定している場所。 初期値:C:\Maxfont | 環境設定の「フォルダ設定」内にある「家紋」項目欄で設定している場所。 初期値:C:\MAXKAMON |
| データフォルダ名 | 書体名(例、田中極太楷書体の場合、「FT210」というフォルダ名) | MY |

ユーティリティの各機能について

ユーティリティ画面に表示されている、各機能について説明します。



| | |
|---------------------|--|
| ファイル管理 | レイアウトファイルのコピー・移動・削除を行います。 |
| バージョン情報(フォント) | 書体のバージョン情報が表示されます。 |
| バージョン情報(システム) | システムのバージョン情報が表示されます。 |
| ファイルの更新 (ファイル単位) | 保存されているレイアウトデータをファイル単位で更新、プリンタや書体を変更することができます。 |
| ファイルの更新 (フォルダ単位) | 保存されているレイアウトデータをフォルダ単位で更新、プリンタや書体を変更することができます。 |
| 用紙サイズの一括変換 | 保存しているレイアウトの用紙サイズを一括して変更することができます。 |
| 文字設定 | 書体ごとに太さとサイズを設定することができます。 |
| バックアップ | 外字、家紋、レイアウトのバックアップを取ることができます。 |

ファイル管理

[ファイル管理]をクリックする、ファイル管理画面が起動し、レイアウトファイルのコピー、移動、削除を行うことができます。



| | |
|-----|--|
| コピー | ファイルのコピーを行います。コピーしたいファイルを選択し、[コピー]をクリックするとコピー先の指定を求められます。コピー先を指定して[OK]をクリックするとコピーされます。 |
| 移動 | ファイルの移動を行います。移動したいファイルを選択し、[移動]をクリックすると移動先の指定を求められます。移動先を指定して[OK]をクリックすると移動します。 |
| 削除 | ファイルの削除を行います。削除したいファイルを選択し、[はい]をクリックすると、確認のうえ削除されます。 |

バージョン情報(フォント)

[バージョン情報(フォント)]をクリックすると、書体のバージョン情報が表示されます。書体名を選択するとバージョンが表示されます。



バージョン情報(システム)

[バージョン情報(システム)]をクリックすると、システムのバージョン情報が表示されます。プログラムを選択するとバージョンが表示されます。



ユーティリティの各機能について

ファイルの更新 (ファイル単位/フォルダ単位)

保存されているレイアウトデータをファイル(フォルダ)単位で旧バージョンの書家の筆から更新したり、プリンタや書体を変更することができます。

旧バージョンの書家の筆で作成したレイアウトファイルをSF-800用レイアウトファイルに更新する

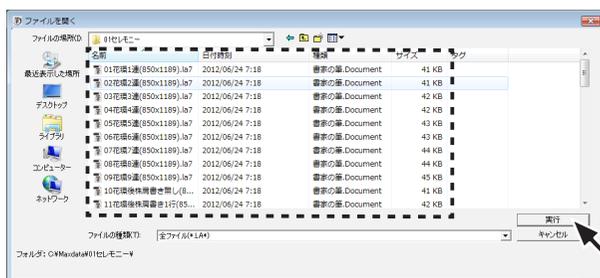
メモ

ファイルを1つずつ更新する場合は、「ファイルの更新(ファイル単位)」を選択し、フォルダ内のファイルを全て更新する場合は、「ファイルの更新(フォルダ単位)」を選択してください。

1 [ファイルの更新]をクリックすると、ファイルを開く画面が起動します。

2 ファイル単位を選択した場合: SF-800で使用したいファイルを選択し、[実行]をクリックします。

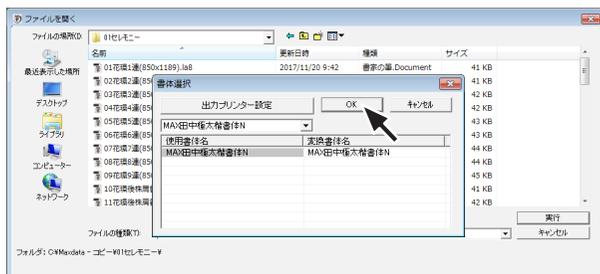
フォルダ単位を選択した場合: SF-800で使用したいフォルダを選択し、[実行]をクリックすると対象のファイルが全て選択されるので、もう一度[実行]をクリックします。



3 書体選択画面の[OK]をクリックします。

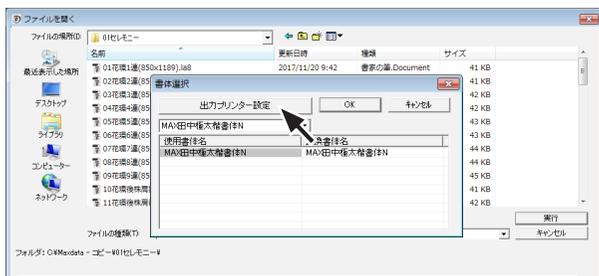
la8はSF-700では開けませんので、旧バージョンも使用する場合にはバックアップを取るなどして下さい。

レイアウトファイルが更新され、SF-800のレイアウトファイルとなります。ファイルの拡張子は「la8」となります。



レイアウトファイルに登録されているプリンタや書体を変更する

- 1 [ファイルの更新]をクリックするとファイルを開く画面が起動するので、変更したいファイルを選択し[実行]をクリックすると、書体選択画面を起動します。
- 2 書体選択画面で、プリンタを変更したい場合は[出力プリンター設定]をクリックし、印刷設定画面を起動します。→ 3 へ
書体を変更したい場合は、変更したい書体を選択します。



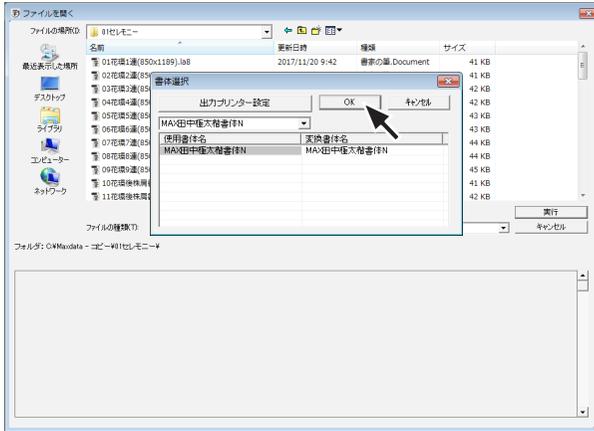
- 3 変更したいプリンタ名を選択し、[更新]をクリックします。



ユーティリティの各機能について

4 書体選択画面で[OK]をクリックします。

レイアウトファイルが更新され、プリンタや書体の登録が変更されます。



ユーティリティの各機能について

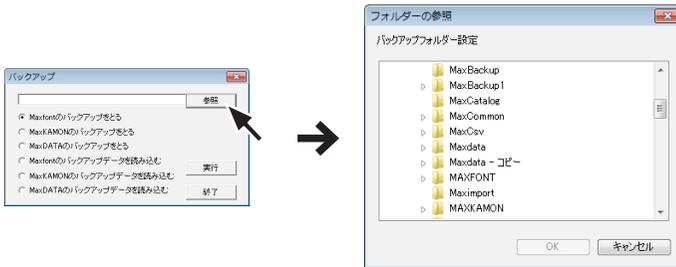
バックアップ

バックアップをとる

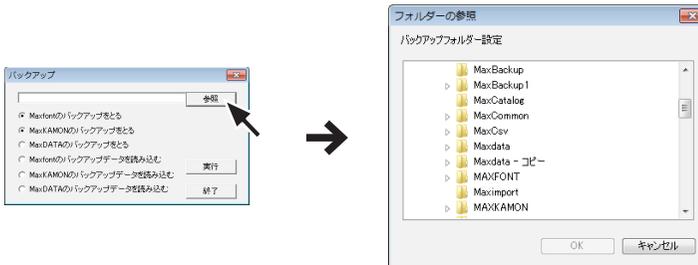
外字データ、MY家紋データ、レイアウトデータのバックアップをとり、万が一パソコンが壊れた場合に備えます。また、保存したバックアップデータを読み込み復元することができます。

1 バックアップするデータの種類とバックアップ先を選択します。

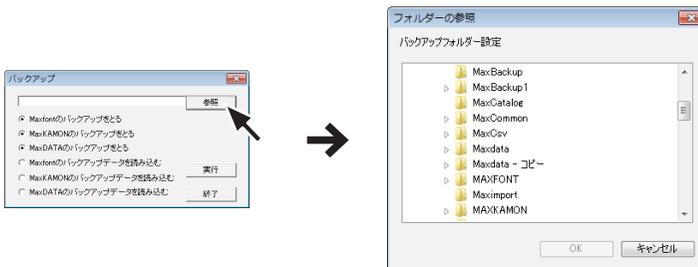
- 外字のバックアップをとる場合は、[Maxfontのバックアップをとる]にチェックを入れ、[参照]をクリックして、バックアップ先を選択します。



- 家紋のバックアップをとる場合は、[MaxKAMONのバックアップをとる]にチェックを入れ、[参照]をクリックして、バックアップ先を選択します。



- レイアウトデータのバックアップをとる場合は、[MaxDATAのバックアップをとる]にチェックを入れ、[参照]をクリックして、バックアップ先を選択します。



2 [実行]をクリックすると、チェックを入れた項目のデータが指定した保存先にバックアップされます。



メモ 複数の項目にチェックを入れて、[実行]をクリックすることで、同時にバックアップをとることができます。

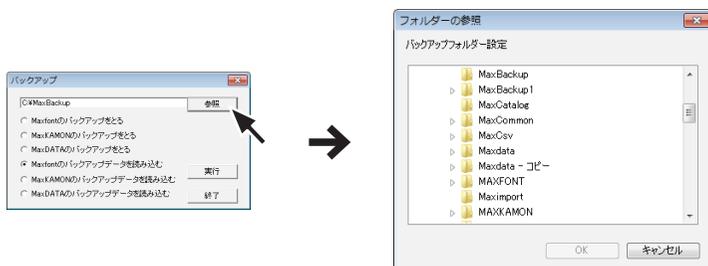
バックアップデータを読み込む

バックアップしたデータ(外字、家紋、レイアウト)を読み込むことができます。

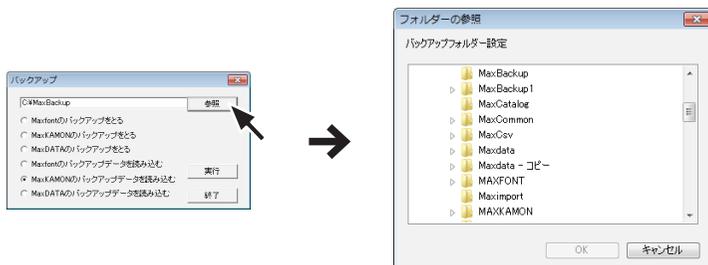
1 バックアップ時と同様の操作で、バックアップ画面を起動します。

2 復元するデータの種類とバックアップするデータを選択します。

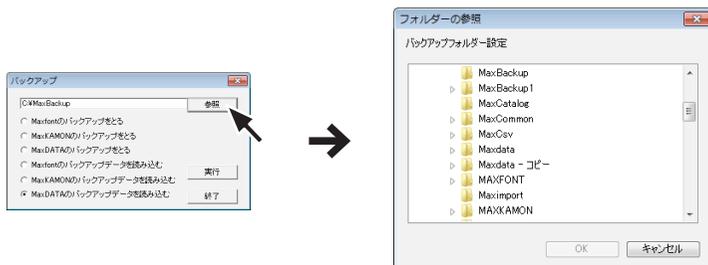
- 外字を読み込む場合は、[Maxfontのバックアップデータを読み込む]にチェックを入れ、[参照]をクリックして、バックアップしたデータを選択します。



- 家紋を読み込む場合は、[MaxKAMONのバックアップデータを読み込む]にチェックを入れ、[参照]をクリックして、バックアップしたデータを選択します。



- レイアウトファイルを読み込む場合は、[MaxDATAのバックアップデータを読み込む]にチェックを入れ、[参照]をクリックして、バックアップしたデータを選択します。



3 [実行]をクリックすると、チェックを入れた項目のデータを読み込みます。

ユーティリティの終了

[ユーティリティの終了]をクリックすると、ユーティリティ画面が終了します。

第2章

レイアウト編集（基本編）

| | | | |
|----------------|----|-----------------|----|
| 書家の筆を起動する | 46 | 外字を作成する | 68 |
| メインメニューを起動する | 46 | 作成したい外字に近い漢字を | |
| 各メニューの紹介 | 46 | 呼び出す | 68 |
| 操作画面 | 47 | 外字を編集する | 70 |
| 画面モード | 47 | 作成した外字を保存する | 74 |
| リボンモード | 47 | 共有外字として保存する | 75 |
| クラシックモード | 48 | 外字編集の機能について | 76 |
| 画面モードの切り換え方法 | 49 | 外字の共有化 | 81 |
| 機能説明 | 50 | 共有外字より使用したい外字を | |
| レイアウトを作成する | 54 | 検索する | 81 |
| 新規編集する用紙を作成する | 54 | 使用したい外字をコピーする | 82 |
| 供物札を作成する | 56 | 共有家紋をコピーする | 82 |
| 文字枠を作成する | 56 | レイアウトを保存する | 83 |
| 枠の整列 | 57 | 名前を付けて保存する | 83 |
| 左右中央揃え | 57 | 上書き保存する | 83 |
| 横サイズ揃え・縦サイズ揃え | 57 | 印刷レイアウトをすべて保存する | 83 |
| 上揃え | 58 | 保存するレイアウトを呼び出す | 84 |
| 文字入力 | 59 | ファイルを開く | 84 |
| 文字枠へ文字の連続入力をする | 60 | レイアウトを印刷する | 85 |
| 厳選外字を入力する | 61 | 印刷設定画面を表示する | 85 |
| 看板を作成する | 63 | 印刷設定を行う | 85 |
| 文字枠を作成する | 63 | 印刷を実行する | 86 |
| 編集で文字枠を追加する | 64 | | |
| 文字入力 | 64 | | |
| 外部データを取り込む | 65 | | |
| 家紋枠 | 66 | | |
| 日付枠 | 67 | | |

書家の筆を起動する

メインメニューを起動し、各メニューを選択してください。

メインメニューを起動する

デスクトップ画面の書家の筆アイコンをダブルクリックすることで、メインメニューが起動します。



各メニューの紹介

メインメニューから実行することができる各メニューを紹介します。



| | |
|---------|---|
| 新規編集 | 新規にレイアウトを作成します。 |
| 編集 | すでに保存しているレイアウトを呼び出して使用します。 |
| 差込印刷 | CSV形式で保存しているデータを、特定のレイアウトへ流し込んでまとめて印刷します。 |
| 表入力 | 複数のレイアウトへ一度に文字入力し、まとめて印刷します。 |
| 一括印刷 | レイアウトイメージを小さく並べて印刷するミニ印刷などを行います。 |
| ユーティリティ | ファイルの変換やバックアップを行います。 |
| 環境設定 | 書体の登録やフォルダの参照先を設定します。 |

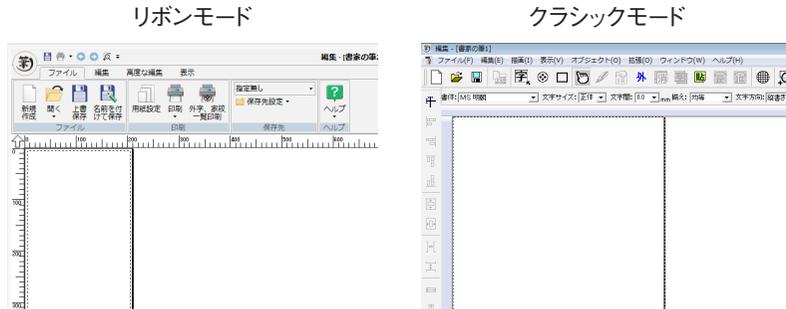
操作画面

操作画面の説明や画面モードの切り換え方法を説明します。

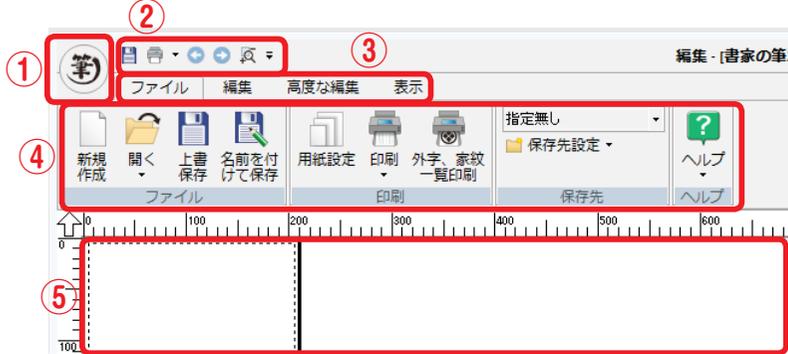
画面モード

リボンモード： よく使う機能は大きく、あまり使わない機能のアイコンが小さくなっており、使いたい機能を見つけやすくなっています。

クラシックモード： これまでの書家の筆シリーズと同じような表示になっています。



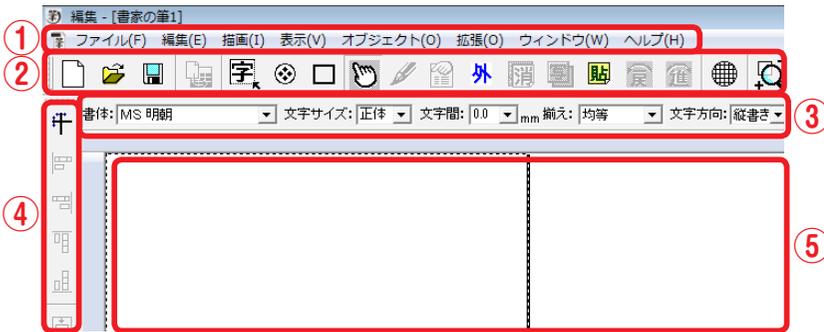
リボンモード



- ① アプリメニュー： 上書き、印刷などの基本機能を選択できます。
- ② クイックアクセスツールバー： よく使う機能を常時表示させることが可能です。
- ③ カテゴリータブ： ファイル・編集・高度な編集・表示から選択できます。
- ④ 機能： 機能は「ファイル」「印刷」などグループ毎にまとまっているので、使用する機能を選択します。
- ⑤ 編集エリア： 実際の作業を行うエリアです。

操作画面

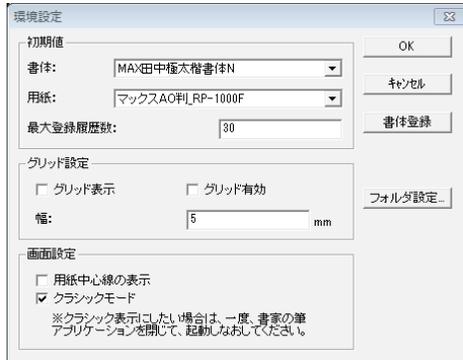
クラシックモード



- ①メニュー： メニューを選択します。
- ②ツールバー： 「上書き保存」や「文字枠作成」などよく使う機能が配置されています。
- ③テキストスタイルバー： 書体や文字サイズの変更ができます。
- ④編集ツールバー： 枠の位置やサイズを設定できます。
- ⑤編集エリア： 実施に作業を行うエリアです。

画面モードの切り換え方法

※編集画面を閉じてから、切り換えを行ってください。開いた状態で行うと切り換えができません。



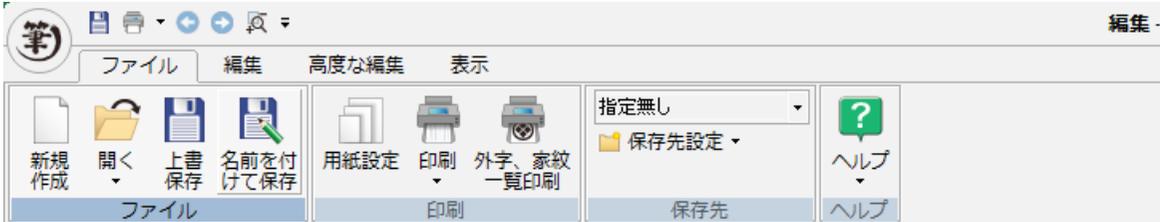
- 1 メインメニューの[環境設定]をクリックし、環境設定画面を起動します。
- 2 環境設定画面で画面設定内のクラシックモードにチェックをする。→クラシックモードになります。
チェックを外す。→リボンモードになります。
選択したら、OKを押します。

以上で切り換えは完了です。

操作画面

機能説明

1. ファイル

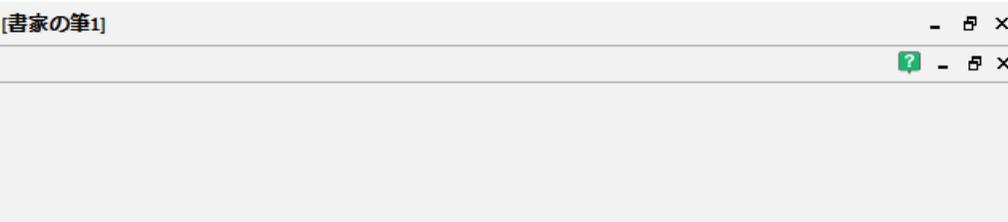


| グループ | 機能 | 説明 |
|------|-----------|-----------------------|
| ファイル | 新規作成 | 新規にファイルを作成します。 |
| | 開く | 保存されているファイルを開きます。 |
| | 上書保存 | 保存されているファイルに上書き保存します。 |
| | 名前を付けて保存 | 新たにファイルを保存します。 |
| 印刷 | 用紙設定 | 編集する用紙の設定します。 |
| | 印刷 | 作業中のファイルを印刷します。 |
| | 外字・家紋一覧印刷 | 外字・家紋の一覧を印刷します。 |

2. 編集



| グループ | 機能 | 説明 |
|------|--------|------------------------|
| 編集 | 選択 | オブジェクトを選択します。 |
| | 切り取り | 選択範囲を切り取ります。 |
| | コピー | 選択範囲をコピーします。 |
| | 貼り付け | 選択範囲を貼り付けます。 |
| | 元に戻す | 直前に行った動作を元に戻します。 |
| | やり直し | 元に戻した操作を再度やり直します。 |
| 枠作成 | 文字枠 | 文字枠を作成します。 |
| | 家紋枠 | 家紋枠を作成します。 |
| | 日付枠 | 日付枠を作成します。 |
| | 図形 | 図形を挿入します。 |
| | 席札配置複写 | 基準となるレイアウトを用紙に自動配列します。 |



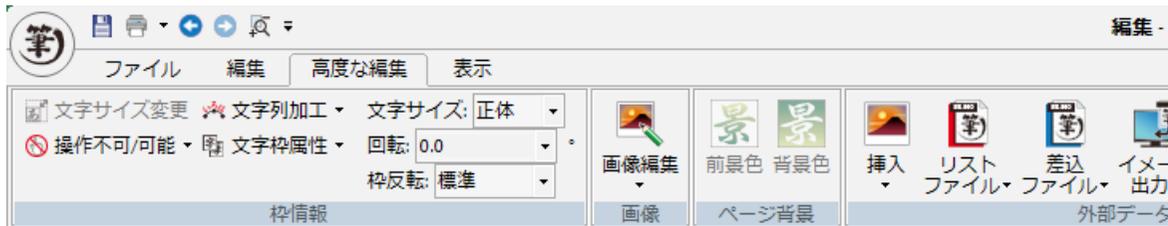
| グループ | 機能 | 説明 |
|------|-------|-----------------------|
| 保存先 | 保存先選択 | 発行履歴を保存したいフォルダを選択します。 |
| | 保存先設定 | 発行履歴を保存するフォルダを設定します。 |
| ヘルプ | ヘルプ | 取扱説明書やバージョンを表示します。 |



| グループ | 機能 | 説明 |
|------|-----------|-------------------------|
| フォント | フォント情報 | フォントの設定を行います。 |
| | 外字作成 | 外字の作成を行います。 |
| | 1文字編集 | 1文字だけ位置やサイズを変更します。 |
| 入力 | 文字入力 | 枠に文字列を入力します。 |
| | 文字の連続入力 | 選択している文字枠に連続して文字を入力します。 |
| 整列 | ページ基準 | 整列する基準を枠、又はページ基準に変更します。 |
| | 整列 | 枠の整列を行います。 |
| | グループ化 | オブジェクトのグループ化を設定します。 |
| | 移動禁止(ロック) | 移動・サイズ変更のロックをします。 |

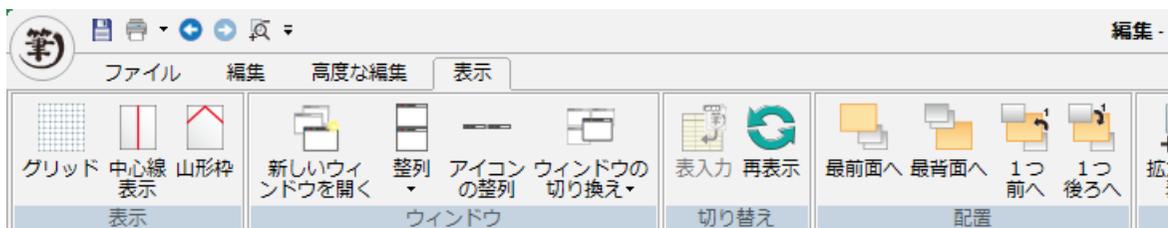
操作画面

3. 高度な編集



| グループ | 機能 | 説明 |
|-------|---------|-----------------------|
| 枠情報 | 文字サイズ変更 | 文字サイズを指定されたサイズに変更します。 |
| | 操作不可/可能 | 操作対象から外す・外さない設定を行います。 |
| | 文字列加工 | 文字列の加工を行います。 |
| | 文字枠属性 | 文字枠属性のコピー・貼り付けを行います。 |
| | 枠情報 | 文字サイズなど枠情報の設定を行います。 |
| 画像 | 画像編集 | 画像の読み込み・編集を行います。 |
| ページ背景 | 前景色 | 前景色を設定します。 |
| | 背景色 | 背景色を設定します。 |

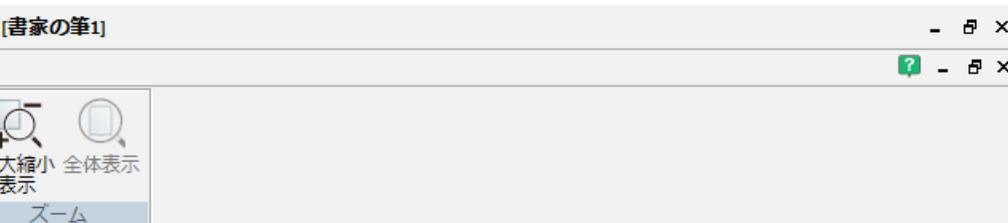
4. 表示



| グループ | 機能 | 説明 |
|-------|-------------|-----------------------|
| 表示 | グリッド | グリッドの指定を行います。 |
| | 中心線表示 | 中心線を表示します。 |
| | 山形枠 | 山形枠の設定を行います。 |
| ウィンドウ | 新しいウィンドウを開く | 作業中のウィンドウを複製して表示します。 |
| | 整列 | ウィンドウを整列します。 |
| | アイコンの整列 | ウィンドウの下部にアイコンを整列させます。 |
| | ウィンドウの切り換え | ウィンドウを切り換えます。 |



| グループ | 機能 | 説明 |
|-------|---------|--------------------|
| 外部データ | 挿入 | 画像・オブジェクトを挿入します。 |
| | リストファイル | リストファイルを設定します。 |
| | 差込ファイル | 差込ファイルを設定します。 |
| | イメージ出力 | イメージを保存します。 |
| | 読み込み | スキャナ・ファイルから読み込みます。 |
| | インポート | 外部ファイルを読み込みます。 |
| | エクスポート | 外部ファイルに書き込みます。 |



| グループ | 機能 | 説明 |
|------|--------|--------------------|
| 切り替え | 表入力 | 表入力を起動します。 |
| | 再表示 | 表示しなおします。 |
| 配置 | 最前面へ | オブジェクトを最前面に移動します。 |
| | 最背面へ | オブジェクトを最背面に移動します。 |
| | 1つ前へ | オブジェクトを1つ前へ移動します。 |
| | 1つ後ろへ | オブジェクトを1つ後ろへ移動します。 |
| ズーム | 拡大縮小表示 | 拡大・縮小して表示します。 |
| | 全体表示 | 用紙全体を表示します。 |

レイアウトを作成する

新規に作成するお好みの用紙サイズの設定、文字の入力、レイアウトのバランス調整を行い、レイアウトを作成してください。

ここでは、下の生花札と道路看板を作成しながら、いろいろな機能をご紹介します。



新規編集する用紙を作成する

レイアウトを新規に作成するために、用紙サイズや余白の設定を行います。

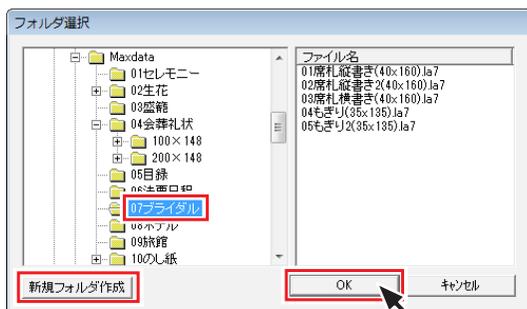
- 1 メインメニューの[新規編集]をクリックします。



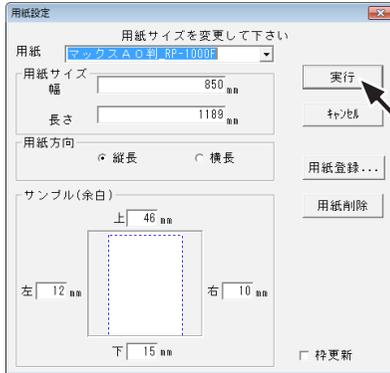
- 2 フォルダ選択画面が表示されるので、新規に作成するレイアウトの保存先を設定します。

フォルダを選択して、[OK]をクリックしてください。

新規にフォルダを作成する場合は、[新規フォルダ作成]をクリックしてください。



- 3 用紙設定画面が表示されるので、新規に作成するレイアウトの用紙サイズ、用紙方向、余白を設定し、[実行]をクリックします。



| | |
|-------|--|
| 用紙 | 用紙登録している名前から選択します。 |
| 用紙サイズ | 新規に作成したい用紙サイズの縦横をmm単位で入力します。 |
| 用紙方向 | 入力している用紙サイズをもとに、縦長もしくは横長方向を選択します。 |
| 余白 | 上下左右の余白を設定します。設定した余白は点線でレイアウト上に表示されます。 |
| 実行 | 設定した内容が確定され、レイアウトファイルが表示されます。 |
| キャンセル | 設定した内容は反映されず、レイアウトファイルが表示されます。 |
| 用紙登録 | 入力している設定値を登録します。用紙登録画面が表示されるので、名前をレイアウトファイル名を入力してください。 |
| 用紙削除 | 登録している用紙を削除します。 |
| 枠更新 | チェックを入れると、設定した用紙で文字枠が拡張されます。 |

以上で新規の用紙作成は完了です。

レイアウトを作成する

供物札を作成する

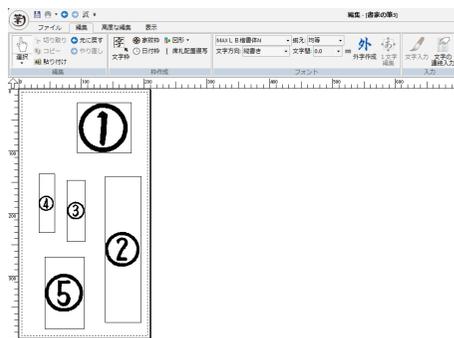
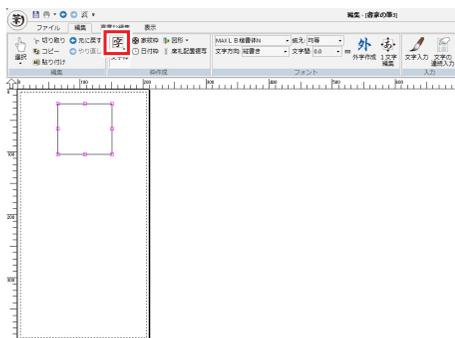
例として以下のようなレイアウトを作成します。



文字枠を作成する

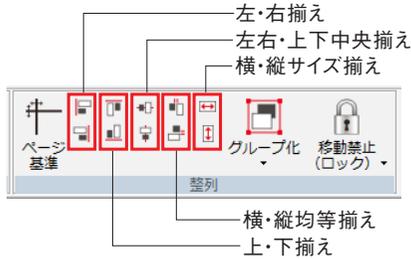
編集タブをクリックし、枠作成パネル内の[文字枠]をクリックし、レイアウト枠内でドラッグし、文字枠を作成します。

文字枠を選択してドラッグすることで、文字枠の移動が行えます。文字枠の周囲にあるピンク色の点をドラッグして、拡大縮小を行います。



枠の整列

文字枠を選択して、編集タブをクリックし、整列パネル内の機能を選択することで整列させることができます。

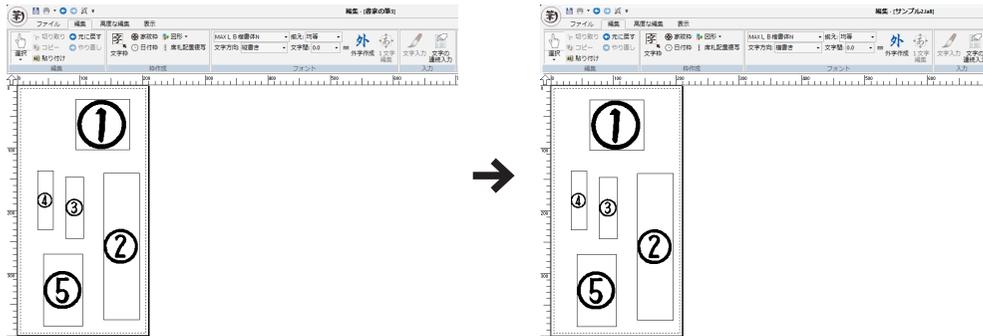


ページ基準

| | |
|---------------|-------------------------|
| ページ基準が押されている | 整列の基準がページ基準になります。 |
| ページ基準が押されていない | 整列の基準は先に選択された枠が基準になります。 |

左右中央揃え

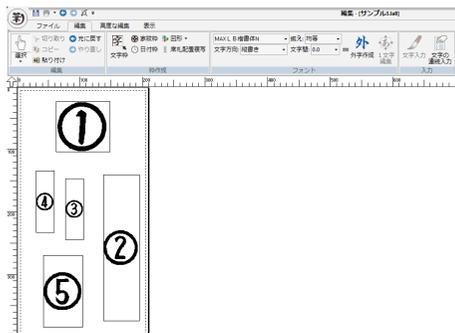
①の枠をページの左右中央に揃えたいので、ページ基準を押した状態で、①の枠をクリックし、[左右中央揃え]を押します。



横サイズ揃え・縦サイズ揃え

枠サイズを同じにしたい。

③と④の枠を選択している状態で、[横サイズ揃え]・[縦サイズ揃え]を押します。

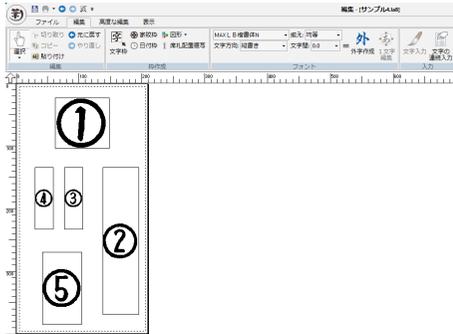


レイアウトを作成する

上揃え

②・③・④の枠の上側を②の上側ラインで揃えたい。

②から③・④の枠全てを選択した状態で、ページ基準が押されていない状態で、[上揃え]を押します。最初に選択した枠を基準に揃えます。



上揃え同様に、[左揃え]・[右揃え]・[下揃え]をすることもできます。

また[横均等揃え]・[縦均等揃え]を使用すると、3つ以上の枠の間隔を横又は縦に均等に配置することもできます。

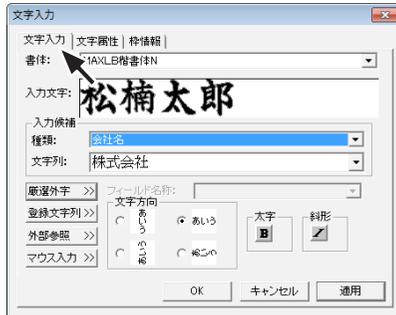
文字入力

文字枠を選択して、編集タブをクリックし、入力パネル内の[文字入力]を選択する、または文字枠をダブルクリックすることで文字入力画面が表示されます。文字入力画面の入力文字に文字を入力します。



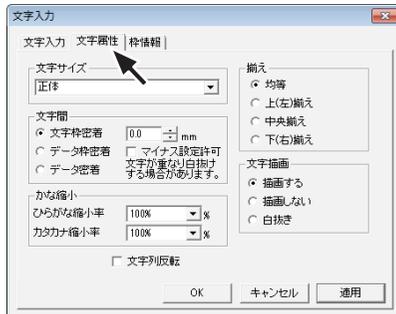
1 文字入力画面が表示されるので、文字の入力、文字属性、枠情報の各種設定を行います。

文字入力タブでは文字の入力が行えます。また、書体や字型などを設定できます。



| | |
|-------|---|
| 書体 | 表示する書体を選択します。 |
| 入力文字 | 表示する文字を入力します。 |
| 種類 | 文字列欄で選択させる文字の候補を切り替えます。入力履歴、会社名、役員名、特殊記号、室名、プライダル、セレモニーから選択します。 |
| 文字列 | 種類で選択したカテゴリに合わせて、文字列を選択します。 |
| 厳選外字 | 厳選外字画面を表示させ、外字を選択します。 |
| 登録文字列 | よく使用される文字列を登録し、参照して入力文字欄へ入れることができます。 |
| 外部参照 | CSVファイルを読み込んで、CSVファイルのデータを入力文字欄へ入れることができます。 |
| マウス入力 | 画面上にキーボードが表示しマウス操作で文字入力することができます。 |
| 文字方向 | 文字枠に記入されている文字の方向を選択します。 |
| 太字 | 入力文字を太くします。 |
| 斜形 | 入力文字を斜めにたおします。 |

文字属性タブでは、文字の縦横比率や字詰めなど、文字の調整が行えます。



| | |
|-------|-----------------------------|
| 文字サイズ | 文字の縦横比率を変更します。 |
| 文字間 | 文字枠に対して、入力文字をギリギリに寄せる設定します。 |
| かな縮小 | ひらがなと、カタカナの縮小率を設定します。 |
| 揃え | 文字枠に入力する文字の揃えを設定します。 |
| 文字描画 | 入力文字を描画する有無を設定します。 |
| 文字列反転 | 入力文字を逆順に並び替えます。 |

枠情報タブでは、文字枠の位置やサイズなどを設定できます。



| | |
|-------|--------------------|
| 枠開始位置 | 文字枠の左角の位置を設定します。 |
| 枠サイズ | 文字枠の縦横サイズを設定します。 |
| 塗り潰し | 文字枠を塗りつぶす設定をします。 |
| 枠線 | 枠線の描画有無と線幅の設定をします。 |
| 回転角度 | 文字枠の回転角度の設定をします。 |
| 薄墨 | 薄墨の濃度設定をします。 |
| 前景色 | 文字の色を設定します。 |
| 背景色 | 文字以外の色を設定します。 |
| 左右反転 | 左右ミラー反転します。 |
| 上下反転 | 上下ミラー反転します。 |
| 移動禁止 | 文字枠の移動ができなくなります。 |

レイアウトを作成する

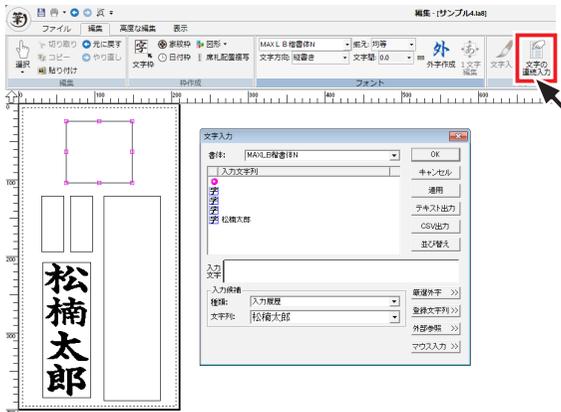
2 各種設定を行ったら、[OK]、[キャンセル]または[適用]をクリックします。

| | OKボタン | キャンセルボタン | 適用ボタン |
|--------|----------|-----------|----------|
| 文字入力画面 | 消える | 消える | 消えない |
| 設定内容 | 文字枠へ反映する | 文字枠へ反映しない | 文字枠へ反映する |

以上で文字枠の作成は完了です。

文字枠へ文字の連続入力をする

文字入力した枠をすべて選択してから、[文字の連続入力]をクリックすると、文字入力画面が表示され、選択している文字枠へ連続して文字を入力していくことができます。



| | |
|--------|---|
| 書体 | 表示する書体を選択します。 |
| 入力文字 | 表示する文字を入力します。 |
| 種類 | 文字列欄で選択させる文字の候補を切り替えます。入力履歴、会社名、役員名、特殊記号、室名、プライダル、セレモニーから選択します。 |
| 文字列 | 種類で選択したカテゴリに合わせて、文字列を選択します。 |
| OK | 文字入力画面が消え、入力文字、設定が反映します。 |
| キャンセル | 文字入力画面が消え、入力文字、設定は反映しません。 |
| 適用 | 文字入力画面は立ち上がったまま、入力文字、設定が反映します。 |
| テキスト出力 | 入力した文字を、環境設定している場所へテキストファイルで出力します。 |
| 並び替え | 入力する文字枠の順番を入れ替えることができます。 |
| 厳選外字 | 厳選外字画面を表示され、外字を選択します。 |
| 登録文字列 | よく使用される文字列を登録し、参照して入力文字欄へ入れることができます。 |
| 外部参照 | CSVファイルを読み込んで、CSVファイルのデータを入力文字欄へ入れることができます。 |
| マウス入力 | 画面上にキーボードが表示しマウス操作で文字入力することができます。 |

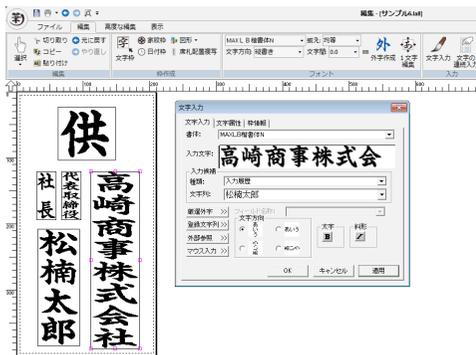
厳選外字を入力する

マックスオリジナルの厳選外字または、お客様で作成登録している外字を検索して呼び出すことで入力することができます。

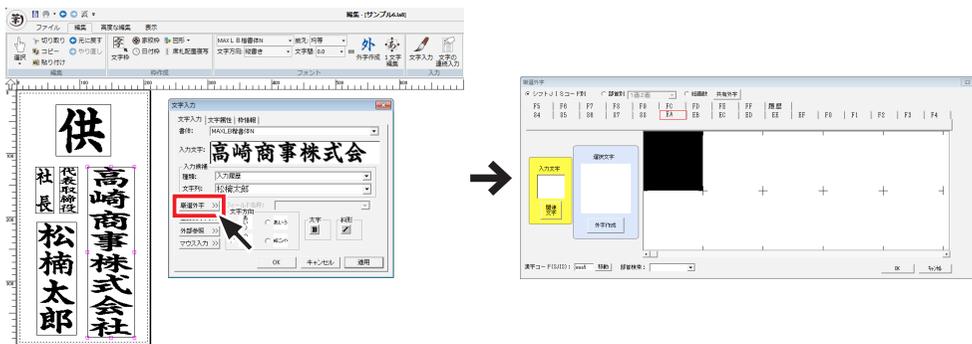
厳選外字画面を開く

外字を入力するには、まず厳選外字画面を表示させます。

- 1 外字を入力したい文字枠をクリックして[文字入力]をクリックするか、文字枠をダブルクリックして、文字入力画面を表示させます。



- 2 [厳選外字]をクリックして、厳選外字画面を表示させます。



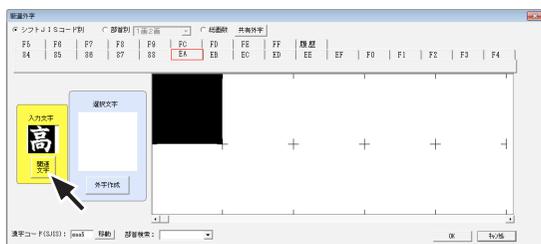
レイアウトを作成する

厳選外字画面では関連文字検索、外字の総画数や部首、シフトJISコードから外字を検索することができます。

但し、使用する書体によって登録されている外字数が異なるため、検索結果が異なる場合がございます。

ここでは「MAX LB楷書体N」を使用して、関連文字検索から**高**を入力します。

- 3 入力文字に**高**と関連がありそうな文字を入力します。
ここでは「高」を入力し、「関連文字」をクリックします。



- 4 候補が表示されるので、その中から**高**を選択して[OK]を押すと、文字入力画面の入力文字欄へ新たに外字が入力されますので、不要な「高」を削除して、[OK]を押します。



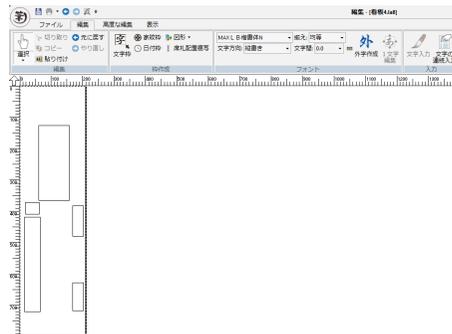
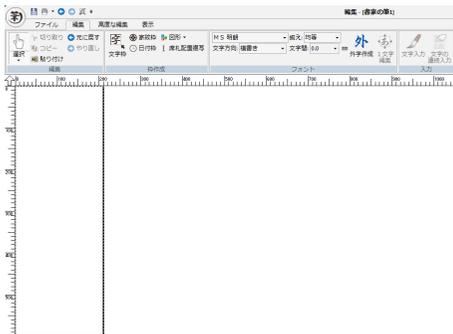
看板を作成する

例として以下のようなレイアウトを作成します。



文字枠を作成する

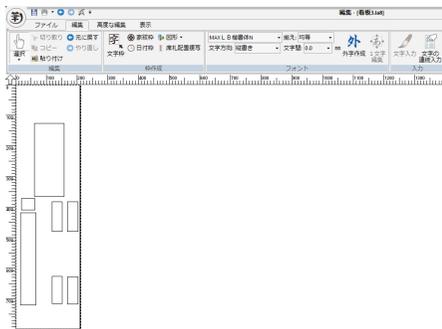
編集タブをクリックし、枠作成パネル内の[文字枠]をクリックし、レイアウト枠内でドラッグし、文字枠を作成します。



レイアウトを作成する

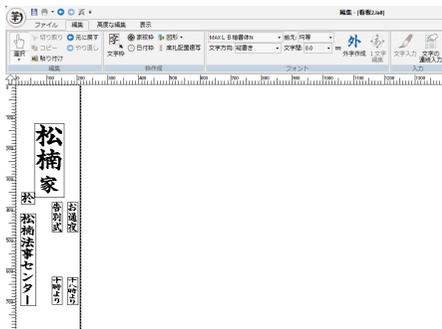
編集で文字枠を追加する

同じサイズの文字枠を追加する場合には、編集タブをクリックし、編集パネル内の[コピー]・[貼り付け]で文字枠を追加することができます。(詳細はP●)



文字入力

文字枠を選択して、編集タブをクリックし、入力パネル内の[文字入力]機能をクリックする、または文字枠をダブルクリックすることで文字入力画面が表示されます。文字入力画面の入力文字に文字入力を行うことができます。(詳細はP●)



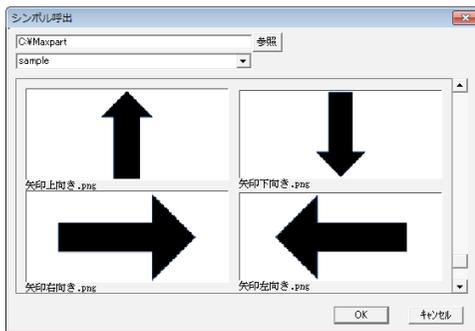
外部データを取り込む

シンボル、画像、エクセルデータなどの外部データを取り込むことができます。



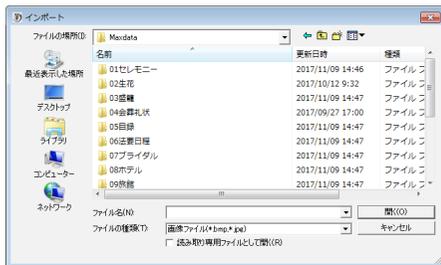
1 左矢印 (シンボル) ← を挿入します。

高度な編集のタブをクリックし、外部データパネル内の[読み込み]—[シンボル読み込み]をクリックします。シンボル呼出画面が表示されるので、矢印左向きを選択して、[OK]を押します。



2 ログ(画像)を挿入します。

高度な編集のタブをクリックし、外部データパネル内の[インポート]をクリックします。インポート画面が表示されるので、保存されているロゴを選択して、[OK]を押します。



レイアウトを作成する

家紋枠

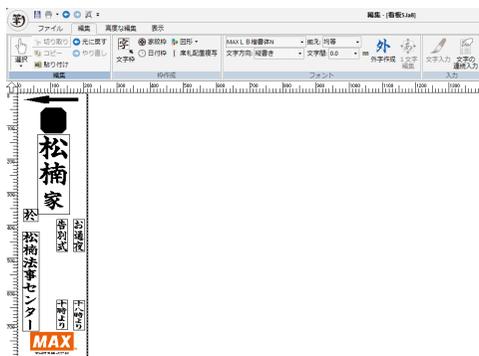
家紋枠を作成し、家紋データを呼び出して作成します。

※家紋データを呼び出すには、マックス家紋 FT-900(オプション)をインストールする必要があります。



1 家紋枠を作成します。

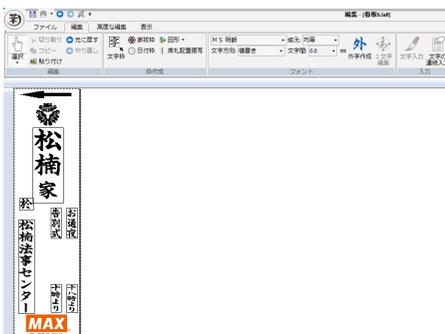
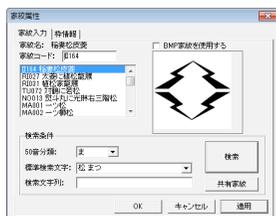
編集のタブをクリックし、編集パネル内の[家紋枠作成]をクリックし、レイアウト枠内でドラッグして家紋枠を作成します。



2 家紋を検索して入力します。

家紋枠をダブルクリックして家紋属性画面を表示させます。

家紋コードを入力するか、検索をかけて家紋を選択して、[OK]を押します。



日付枠

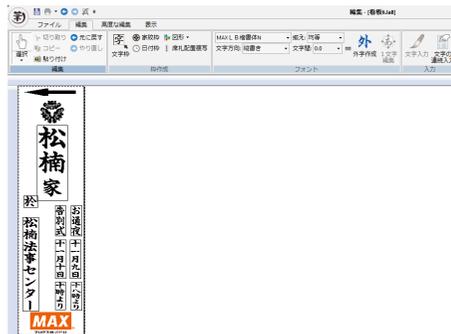
日付枠機能を使って、日付枠を作成し、日付データを表示させます。

1 日付枠を作成します。

編集のタブをクリックし、編集パネル内の[日付枠作成]をクリックし、レイアウト枠内でドラッグして日付枠を作成します。

日付枠を作成すると、現在の日付が表示されます。

2 作成した日付枠をダブルクリックして、日付入力画面を表示させて、日付枠の設定を行います。



| | |
|------------|--|
| 書体 | 表示する書体を選択します。 |
| 表示形式 | 日付データの形式を選択します。 |
| 現在の日付を使用する | チェックを入れると、パソコンで設定されている現在日付が表示されます。 |
| 日付を入力する | チェックを入れると、任意の日付を入力することができます。 |
| 日付を加算する | 日付枠参照または、現在の日付から一定の加算をした日付データが表示されます。 |
| 日付枠参照 | 日付枠を参照する画面が表示され、選択した日付枠を基準として、加算することができます。 |
| 文字方向 | 文字枠に記入されている文字の方向を選択します。 |
| 太字 | 入力文字を太くします。 |
| 斜形 | 入力文字を斜めにたおします。 |
| OK | 設定内容を反映し、日付入力画面を閉じます。 |
| キャンセル | 設定内容を反映せず、日付入力画面を閉じます。 |
| 適用 | 日付入力画面を閉じずに、設定内容を反映します。 |

外字を作成する

外字編集画面より、登録されている文字を編集して、保存することで外字を作成することができます。

ここでは「MAX LB楷書体N」で「耕」という字を作成します。

作成したい外字に近い漢字を呼び出す

呼び出す方法は2種類あります。

漢字を呼び出す場合 → ① へ

外字を呼び出す場合 → ② へ

① 外字編集画面を起動して、漢字を呼び出します。

外字編集画面を起動します。

編集のタブをクリックし、フォントパネルの[外字作成]をクリックします。

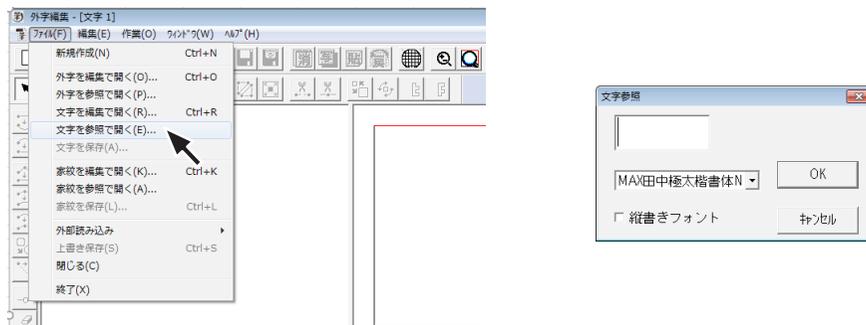


作成したい外字に近い漢字を「参照」または、「編集」で呼び出します。

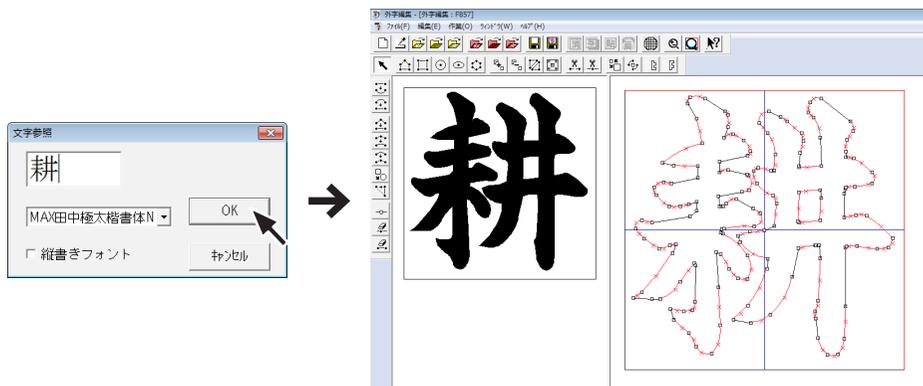
※「文字を編集で開く」は、呼び出した漢字を変更して、上書き保存したい場合に選んでください。

※「文字を参照で開く」は、呼び出した漢字を変更して、別のコードで保存したい場合に選んでください。

■「文字を参照で開く」または、「文字を編集で開く」を選択して、文字参照画面を起動します。

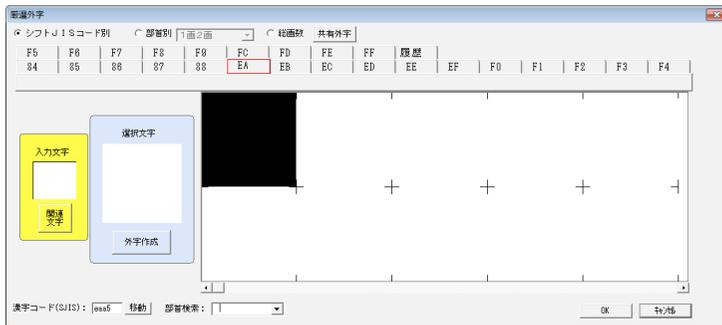


■ 参照したい文字を入力して「OK」ボタンを押します。

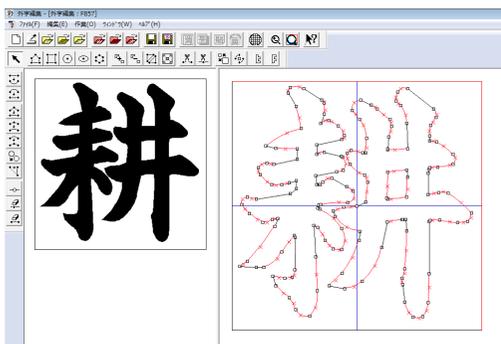
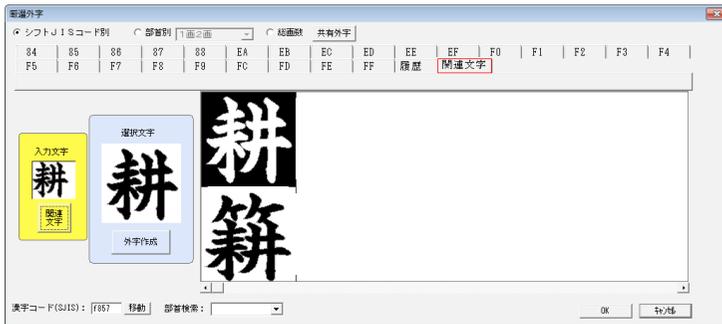


2 厳選外字画面から外字を呼び出します。

編集の文字入力画面で厳選外字をクリックし、厳選外字画面を起動します。



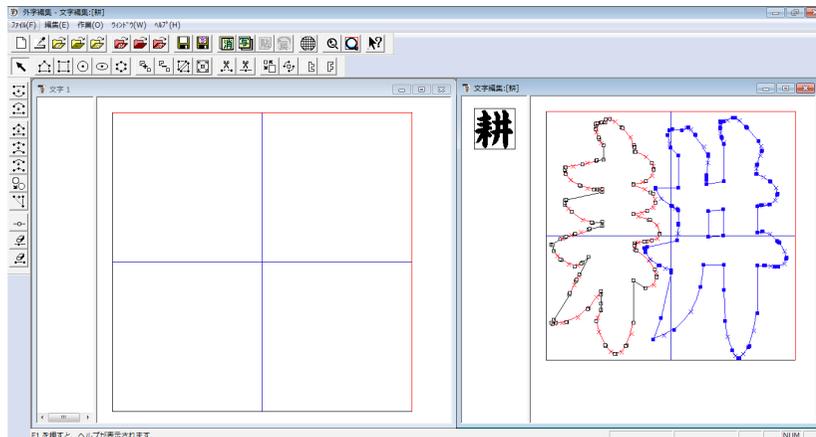
作成したい外字に近い字を入力文字ボックスに入力し、[関連文字] ボタンをクリックします。表示された関連文字一覧から作成したい外字に近い文字を選択し、選択文字に表示された外字であれば、[外字作成] をクリックして、外字編集画面を起動します。起動したら新規作成ボタンを押して、作作用のシート(文字2)を表示させておきます。



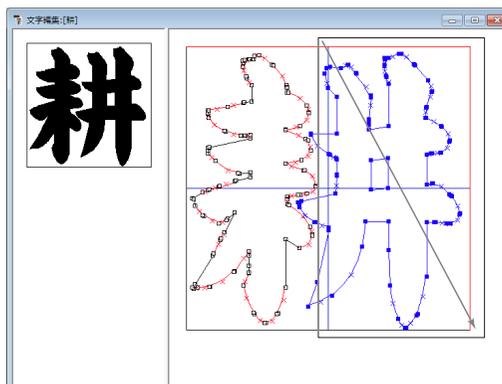
外字を作成する

外字を編集する

各種編集機能を使って、字形を変更します。



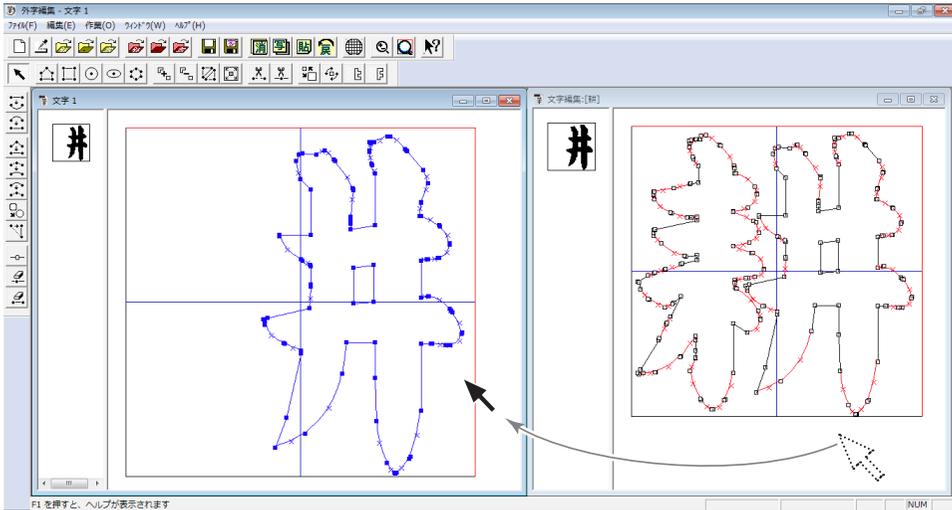
- 1 「井」の部分を取り出します。
カーソルをドラッグさせて、「井」の部分を選択します。



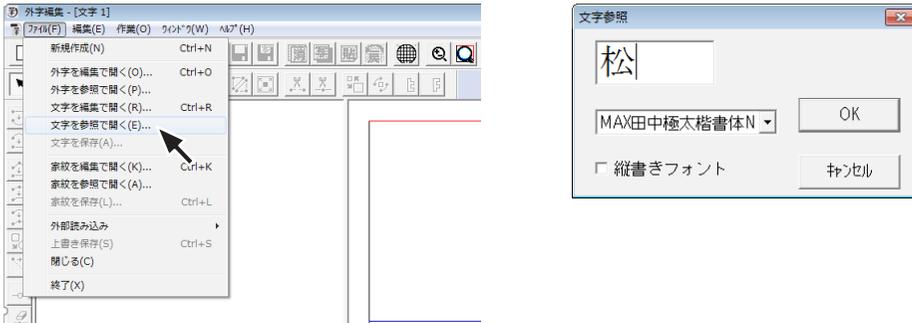
- 2 コピーボタンを押します。



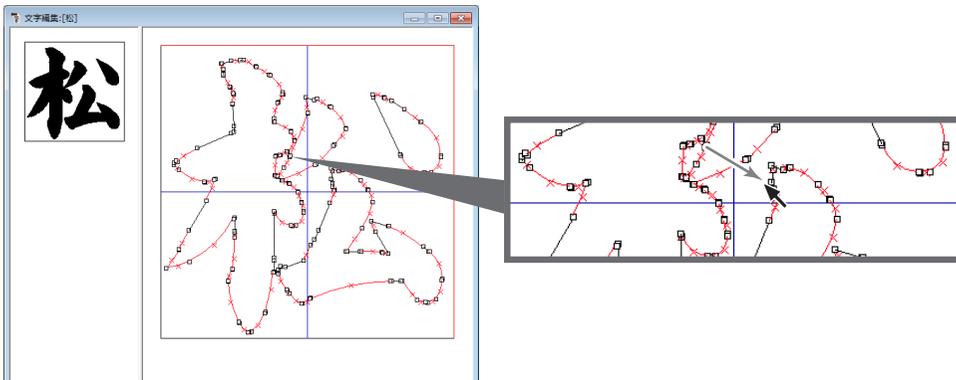
- 3 文字1 (外字の場合は文字2) シートに [貼り付け] ボタンを押して、貼り付けます。



- 4 続けて「松」から「木」を取り出します。
「文字を編集で開く」より、「松」を呼び出します。



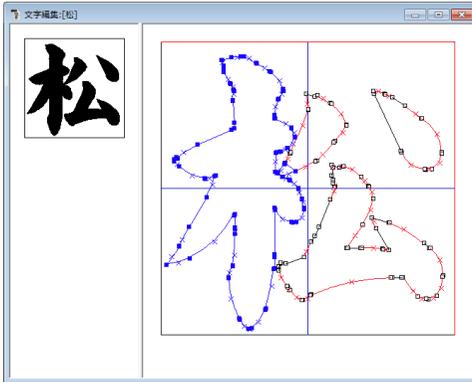
- 5 「木」を選択したいが、「公」の左の点とつながっている為、点のみを分割します。



外字を作成する

6  「図形任意分割」ボタンを押して、繋がっているあたりで、マウスをドラッグさせて、分割させます。

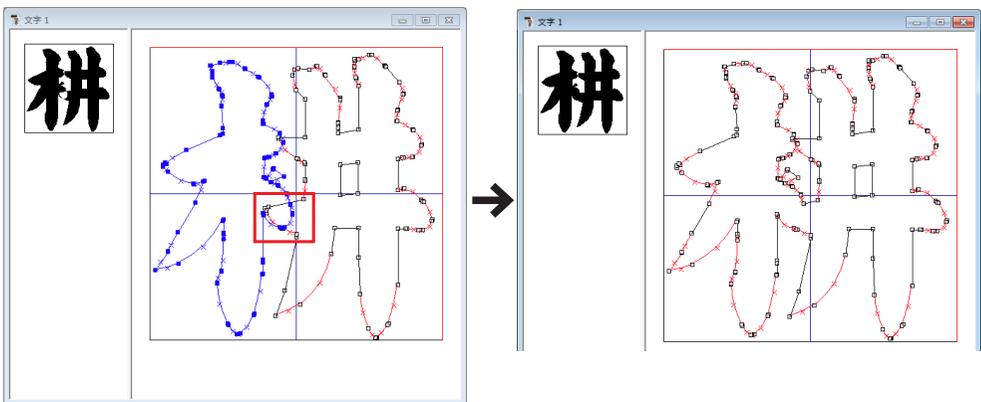
7  「図形選択」をクリックし、カーソルをドラッグして「木」の部分を選択します。



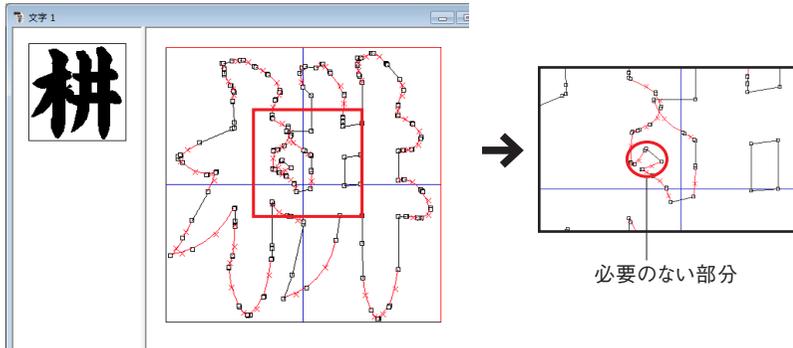
8 先ほどの(2 → 3)と同じ操作で、コピー → 貼り付けを行います。

9 文字が重なっている部分があるので、重なっている部分を合成します。

 「図形合成」ボタンをクリックし、重なっている部分をドラッグします。

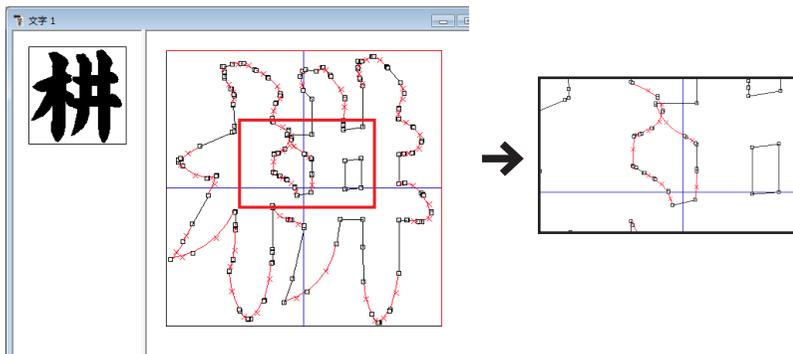


- 10 「木」を拡大すると、6 で切り取った一部が残っています。



- 11 必要のない部分を削除します。

 「要素削除(個別)」をクリックし、必要のない点を選択すると削除できます。

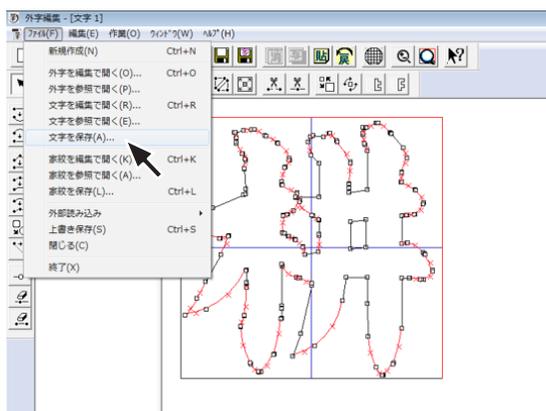


外字を作成する

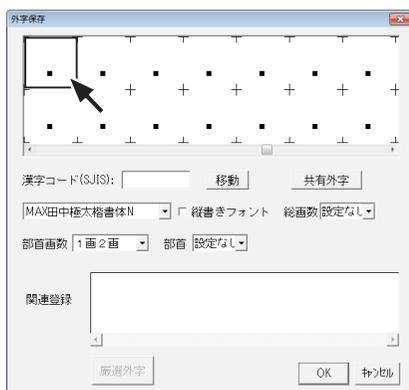
作成した外字を保存する

「文字を編集で開く」で呼び出していた場合は、同じシフトJISコードで上書き保存されます。
 「文字を参照で開く」で呼び出していた場合は、保存したいシフトJISコードを選択して保存します。

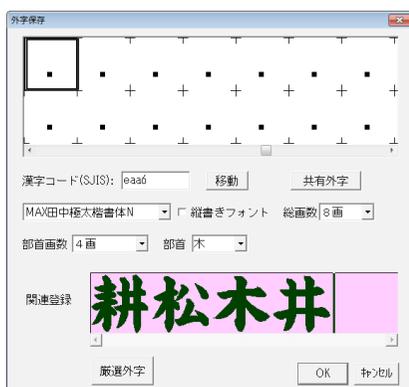
- 1 ファイルメニュー内の「文字を保存」を選択します。



- 2 空いているシフトJISコードのエリアを選択して、保存します。



- 3 書体、部首画数、部首、総画数、関連文字等を設定しておく、後で外字を呼び出す際に検索しやすくなります。



※関連文字の検索時の表示は、ここで入力した順番とは異なる場合があります。

共有外字として保存する

共有外字として保存すると、別のパソコンから参照したりすることができます。

- 1 外字保存画面の「共有外字」ボタンを押すと、共有外字画面が起動します。



- 2 共有外字の保存先を選択して、「OK」ボタンを押すと、自PCと共有外字の両方に外字が保存されます。
共有外字で保存先を選択しない場合は、外字保存と同じ場所に保存されます。

外字を作成する

外字編集の機能について

外字を作成するためのメニューについて説明いたします。

■「ファイル」メニュー

| 名称 | アイコン | 機能 |
|----------|---|--|
| 新規作成 |  | 新しい外字編集ウィンドウを開きます。 |
| 外字を編集で開く |  | すでに作成した外字またはマックス厳選外字を読み込みます。編集後、新規保存または上書き保存で登録できます。 |
| 外字を参照で開く |  | 外字を参照モードで読み込みます。塗り潰しイメージ表示およびデータの保存は行えません。 |
| 文字を編集で開く |  | 既存の文字フォントを読み込みます。編集後、新規保存または上書き保存で登録できます。 |
| 文字を参照で開く |  | 文字を編集で開くとほぼ同じ機能ですが、新規保存や上書き保存ができない点が異なります。また、呼び出したウィンドウには、塗り潰しイメージは表示されません。 |
| 文字を保存 | — | アクティブウィンドウの編集データを指定した外字コード領域または家紋データとして保存します。 |
| 家紋を編集で開く |  | すでに作成された家紋データを読み込みます。編集後、家紋を保存または上書き保存で登録できます。  1.呼び出す家紋コードまたは、一覧より家紋を選択します。 2.[OK]をクリックすると、選択した家紋が画面上に呼び出されます。 |
| 家紋を参照で開く |  | 家紋を参照モードで読み込みます。塗り潰しイメージ表示およびデータの保存は行えません。  1.呼び出す家紋コードまたは、一覧より家紋を選択します。 2.[OK]をクリックすると、選択した家紋が画面上に呼び出されます。 |
| 家紋を保存 |  | アクティブウィンドウの編集データを家紋データとして保存します。  1.保存する家紋コードを「MY」から続く連番3桁で入力します。 2.分類に入力されている文字が含まれる名前を「家紋名称」に入力して、[OK]をクリックすると、家紋が保存されます。 |
| スキャナー | — | コンピュータに接続されているTWAIN対応のスキャナーからデータを読み込みます。 |
| 輪郭線抽出 |  | 白黒2値のbmpファイルから輪郭線を抽出します。ファイルを選択後[開く]をクリックすると自動的に輪郭線抽出が開始されます。 |
| 上書き保存 |  | アクティブウィンドウの編集データを同じデータ名で保存します。 |

| 名称 | アイコン | 機能 |
|-----|------|--|
| 閉じる | — | 編集しているデータを閉じます。データが保存されていないときは保存するかどうか選択します。 |
| 終了 | — | 外字編集を終了します。未保存のデータがあるときは保存するかどうか選択します。 |

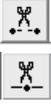
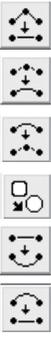
外字を作成する

■「編集」メニュー

| 名称 | アイコン | 機能 |
|----------|---|---|
| 元に戻す |  | 行った操作を元に戻します。 |
| 切り取り |  | 選択した範囲を切り取って、クリップボードに保存します。 |
| コピー |  | 選択した範囲をコピーして、クリップボードに保存します。 |
| 貼り付け |  | クリップボードのデータを貼り付けます。 |
| 拡大表示 |  | 左クリックで選択した場所を拡大表示します。 |
| 縮小表示 |  | 右クリックで選択した場所を縮小表示します。 |
| 全体表示 |  | レイアウト全体が見えるように表示します。 |
| グリッド |  | グリッドに関する設定を行います。表示・配置の有無とサイズを設定できます。 |
| フォント情報設定 | — | 編集ウィンドウ中の赤十字丸(文字基点位置)と赤線(文字送り量)の設定をします。文字基点位置は印字時の原点を、文字送り量は文字のサイズを表わしています。 |

■「作業」メニュー

| 名称 | アイコン | 機能 |
|----|---|--|
| 選択 |  | <p>複写や移動を行う図形を選択する時使用します。メニュー選択後、マウスで図形を囲んで選択します。マウスの右ボタンをクリックすると、選択される図形の種類を選べます。選択できる図形の種類は次の5種類です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉ループ指定 選択された範囲に含まれる制御点の属する閉ループを選択します。 ・ 制御点矩形指定 選択された範囲に含まれる制御点の属する制御点を選択します。 ・ 制御点多角形指定 制御点を選択するとき多角形を用いて指定します。ダブルクリックすると始点と終点が結ばれ選択されます。 ・ 制御点間指定 選択開始点、通過点、選択終了点の順番に3つの制御点を指定することで選択ルート上の制御点を全て選択します。 ・ 線分・円弧指定 線分・円弧を指定することで、線分の場合は始終点、円弧の場合は始終点と通過点の各制御点を選択します。 |
| 作図 |      | <p>5種類の図形の作図が行えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多角形 頂点をマウスで指定して作図します。ダブルクリックすると始点と終点が結ばれ選択されます。 ・ 四角形 マウスで対角線の始点と終点を指定して作図します。 ・ 円 マウスで円の半径を指定して作図します。 ・ 正多角形 角数入力後、マウスで図形の中心と頂点の1つを指定して作図します。 ・ 楕円 マウスで始点と終点を指定して作図します。始点と終点を対角線とする長方形に接する楕円が作図されます。 |

| 名称 | アイコン | 機能 |
|-------|---|--|
| 切り離し |  | 1つの図形を2つの図形に分割します。分割方法は次の2つの方法があります。 <ul style="list-style-type: none"> 任意 図形を分割する直線を書くことで分割します。 制御点 2つの制御点を指定することで分割します。 |
| 合成 |  | 図形の重なり合った部分を囲むようにドラッグすると、重なり部分を削除し合成することができます。右クリックすると矩形指定モードと多角形指定モードとを切替えることができます。下側に現在のモードが表示されます。 |
| 分離 |  | 2つの図形の重なり合った部分で分離します。実行後、最初に分離しない図形を、次に分離する図形をクリックします。クリックすると分離する図形が分割されます。 |
| 型抜 |  | 図形の重なり合った部分を囲むように選択して図形を分割します。 |
| オフセット |  | 2種類のオフセット処理が行えます。 <ul style="list-style-type: none"> オフセットA 1つの図形に対して指定した数値にオフセット(縁取り)を作成します。 オフセットB 文字などの複数の図形に対して指定したオフセット(縁取り)を作成します。 |
| 変形 |  | 図形の形状を変換します。図形変換は次の6種類が行えます。 <ul style="list-style-type: none"> 直線化 指定された制御点の区間を直線化します。始点と終点を指定し、直線化で削除される点を1つ指定すると直線化されます。 円弧化 指定された制御点の区間を円弧化します。始点・通過点・終点の順に指定すると円弧化されます。 折線化 円弧を2本直線に変換します。始点・終了・制御点の順に指定すると折線化されます。 真円化 閉ループを真円に変換します。真円化する閉ループの制御点を指定します。指定した閉ループが削除され、3つの円弧で構成される真円の閉ループが作成されます。 直線→円弧 円弧に変換したい直線を、マウスで指定した後、図形選択のカーソルで直線を選択し、円弧化します。 円弧→直線 直線に変換したい円弧をマウスで指定し、直線化します。 |
| 整列 |  | 基準を指定し、次に移動点を指定すると、移動点が基準点と同じX座標またはY座標に移動します。移動する座標はマウスの右ボタンをクリックすると切り替わり、モードはステータスバーに表示されます。 |
| 拡大縮小 |  | 指定した図形の拡大・縮小を行います。マウスで範囲を指定すると、選択された図形を囲むように赤い矩形枠が表示されます。その枠をマウスで移動させることで拡大縮小が行えます。 |
| 回転 |  | 指定した図形を回転させます。マウスで範囲を指定すると、選択された図形を囲むように青い矩形枠が表示されます。その枠の四隅をマウスで移動させることで回転が行えます。枠内の十字線を移動させることで回転の中心を変えることができます。 |
| 反転 |  | マウスで指定した図形を反転します。上下・左右の切り替えはサブメニューで行います。マウスの右ボタンをクリックすると、全エリアを選択するメニューが表示され、全エリアのを反転が行えます。 |
| 要素分割 |  | 直線や円弧を2当分して、直線や円弧の中心点に制御点を追加します。 |
| 要素削除 |  | 制御点を削除し2つの線分を1つの線分にします。 削除の方法は個別削除と一括削除がありサブメニューで切り替えます。 |
| データ編集 | — | 選択されているデータのサイズ、位置をデータ編集ダイアログのボタンで変更することができます。 |

外字を作成する

■「ウィンドウ」メニュー

| 名称 | アイコン | 機能 |
|---------|------|--|
| 重ねて表示 | — | 編集ウィンドウ内で複数個開いたレイアウトウィンドウを、少しずつずらしてタイトルバーがすべて見えるように並べます。 |
| 並べて表示 | — | 編集ウィンドウ内で複数個開いたレイアウトウィンドウを、上下左右に敷きつめて重ならないように並べます。 |
| アイコンの整列 | — | 編集ウィンドウ内でアイコン化された複数レイアウトウィンドウアイコンを、きれいに整列します。 |

■「ヘルプ」メニュー

| 名称 | アイコン | 機能 |
|---------|------|-------------------------------|
| 目次 | — | ヘルプを表示します。 |
| バージョン情報 | — | 現在使用している「外字編集」のバージョン情報を表示します。 |

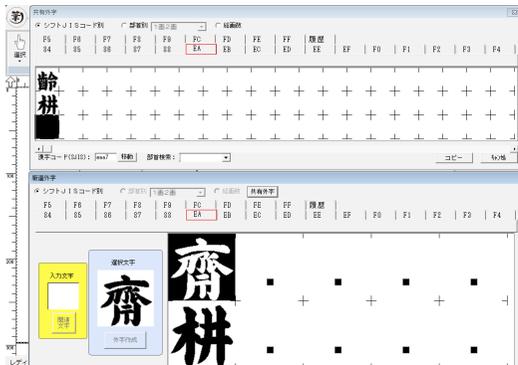
外字の共有化

共有ドライブや、外部メモリに保存された別のパソコンで作成した外字を共有外字画面より選択して、自分のパソコンにコピーすることができます。これにより、外字作成の手間を省くことができます。

共有外字より使用したい外字を検索する

共有外字画面を表示させて、探している外字を検索します。

- 1 編集画面で作成した文字枠をダブルクリックし、文字入力画面から厳選外字を選択します。
- 2 厳選外字画面の[共有外字]をクリックして、共有外字画面を表示します。



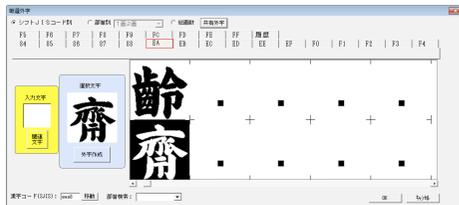
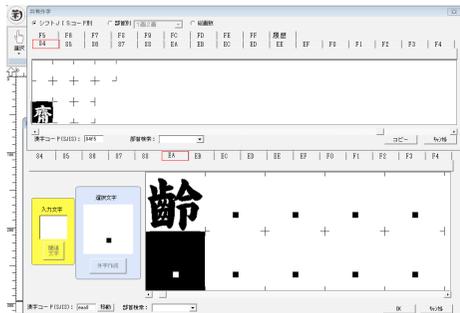
- 3 部首や総画数で外字を検索できます。



外字の共有化

使用したい外字をコピーする

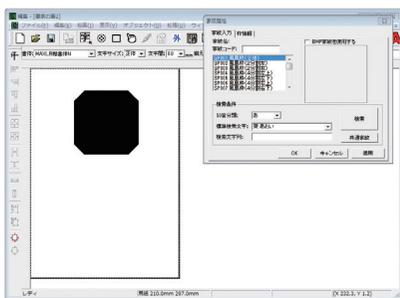
共有外字画面からコピーしたい外字を選択した後、厳選外字画面のコピー先を指定し、[コピー]をクリックすると、外字がコピーされます。



共有家紋をコピーする

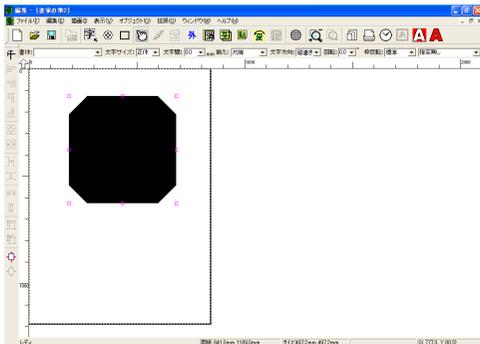
家紋を共有家紋画面から選択して、自分のパソコンにコピーすることができます。

- 1 編集画面で作成した家紋枠をダブルクリックし家紋属性画面を表示させます。



- 2 家紋属性画面の「共有家紋」をクリックし、「共有家紋属性」画面を表示させます。共有家紋画面からコピーしたい家紋データを選択し、コピー先の家紋コードを入力して、[コピー]をクリックします。

コピー先の家紋コードは、「MY」から始まり数字3桁が続く番号となります。



レイアウトを保存する

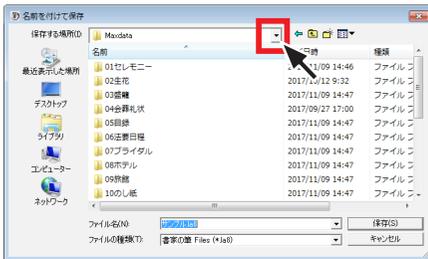
レイアウトファイルを保存する場合は、手動操作でレイアウトファイルを保存する方法と、印刷実行時に自動的に印刷するレイアウトを保存する方法があります。



名前を付けて保存する (手動操作で保存する方法)

開いているファイルを任意の場所へ保存することができます。

- 1 ファイルタブをクリックし、ファイルパネル内の[名前を付けて保存]を選択します。
- 2 名前を付けて保存画面が表示されるので、保存する場所を選択(保存する場所の下矢印を押すことで選択を行う)し、ファイル名を入力して、[保存]をクリックします。



上書き保存する

ファイルパネル内の[上書き保存]を選択し、レイアウトファイルを上書き保存します。

印刷レイアウトをすべて保存する (自動的に保存する方法)

環境設定で発行履歴の保存先の設定を行うことで、保存先選択画面でフォルダ名を選択すれば、印刷実行時に自動的に発行レイアウトを保存できます。詳しくは、P92「1-3 保存先」を参照してください。

保存するレイアウトを呼び出す

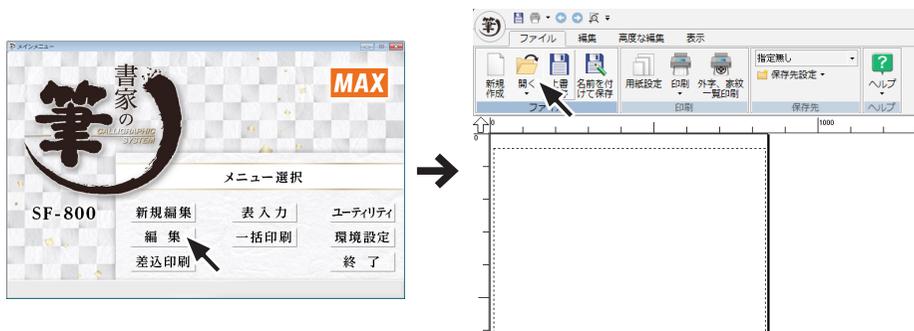
レイアウトファイルを読み出して編集したい場合は、保存済みレイアウトを開いて編集画面に読み込んでください。



ファイルを開く

ファイルを開く画面を表示させて、保存しているファイルを選択して呼び出します。

- 1 メインメニューの[編集]またはファイルタブをクリックし、ファイルパネル内の[開く]を選択してください。



- 2 ファイルを開く画面が表示されるので、保存しているレイアウトファイルを選択します。呼び出したいレイアウトファイルを選択して[開く]をクリックして、レイアウトファイルを読み出します。

レイアウトを印刷する

印刷設定画面では、印刷するための各種設定を行うことができます。

印刷設定画面を表示する

ファイルタブの印刷パネル内の[印刷]をクリックすることで、印刷設定画面が表示されます。



印刷設定を行う

プリンタの選択、用紙サイズの設定、印刷方向、印刷枚数などを設定します。

用紙設定の「現在の用紙」と「印刷用紙」のサイズが異なっている場合、印刷のズレや、白紙での出力、印刷が複数枚数に分かれてしまう場合がございます。



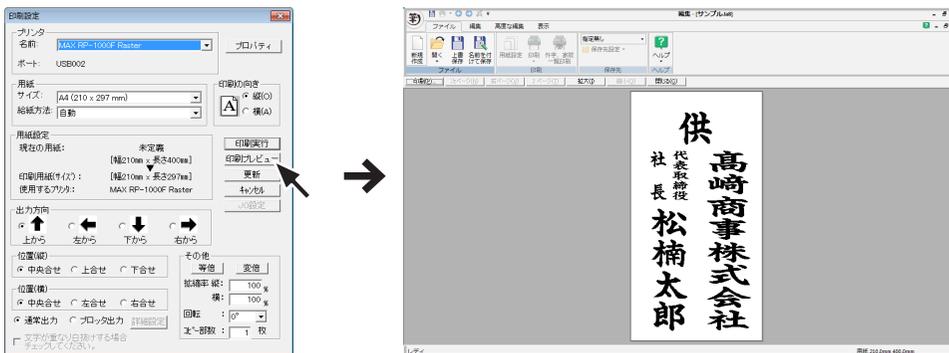
| | | |
|-------------|--|----------------------------------|
| プリンタ | 名前 | 印刷したいプリンタを選択します。 |
| | ポート | 選択したプリンタが使用するポートが表示されています。 |
| 用紙 | サイズ | プリンタで設定されている用紙サイズを選択します。 |
| | 給紙方法 | プリンタで選択できる給紙方法を選択します。 |
| 印刷の向き | 縦横を選択することで、印刷する向きが変わります。 | |
| 用紙設定 | 現在の用紙 | 書家の筆で設定されている用紙サイズが表示されています。 |
| | 印刷用紙 | プリンタで選択している用紙サイズが表示されています。 |
| 出力方向 | 書家の筆の画面基準で、印刷する方向を上下左右から選択します。 | |
| 位置(縦) | 印刷する位置を、中央、上、下から選択します。 | |
| 位置(横) | 印刷する位置を、中央、左、右から選択します。 | |
| 通常出力／プロッタ出力 | 一般的なプリンタ(レーザープリンタ、インクジェットプリンタ、サーマルプリンタ等)を使用する場合は、通常出力を選択してください。カッティングプリンタなど、アウトラインデータを使用して印刷する出力機を使用する場合は、プロッタ出力を選択してください。 | |
| その他 | 拡大率 | 画面上に表示しているサイズから、縦横の拡大、縮小率を設定します。 |
| | 回転 | 画面上に表示しているレイアウトの回転をかけます。 |
| | コピー部数 | 同じ印刷物を複数枚印刷したい場合に、枚数を入力してください。 |

レイアウトを印刷する

印刷を実行する

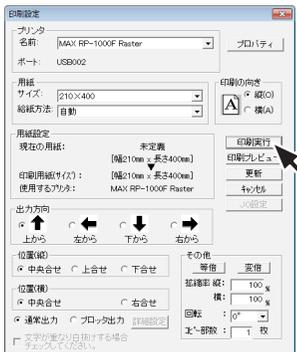
[印刷プレビュー]を確認したあとで、印刷を実行します。

- 1 印刷設定画面を表示します。
- 2 [印刷プレビュー]をクリックして、レイアウトを確認します。



- 3 印刷設定画面の[印刷実行]をクリックします。

設定した内容(プリンタ名、印刷の向きなど)を、レイアウトファイル単位で保存しておく場合は、印刷設定画面の[更新]をクリックします。



第3章

レイアウト編集（機能説明編）

| | | | |
|--------------------|----|-----------|-----|
| ファイル | 88 | 高度な編集 | 101 |
| 1-1 ファイル | 88 | 3-1 枠情報 | 101 |
| 開く | 88 | 3-2 画像 | 101 |
| 1-2 印刷 | 88 | 画像を編集する | 102 |
| 用紙設定 | 88 | 背景画像を作成する | 105 |
| 一覧印刷を行う | 91 | 3-3 ページ背景 | 106 |
| 1-3 保存先 | 92 | 3-4 外部データ | 106 |
| 保存先フォルダを作成する | 92 | リストファイル | 107 |
| 印刷前に保存先フォルダを選択する | 93 | 差分ファイル | 108 |
| 印刷を実行して、レイアウトファイルを | | イメージ出力 | 109 |
| 保存する | 93 | 読み込み | 110 |
| 1-4 ヘルプ | 93 | インポート | 110 |
| 編集 | 94 | エクスポート | 110 |
| 2-1 編集 | 94 | 表示 | 111 |
| 2-2 枠作成 | 94 | 4-1 表示 | 111 |
| 席札配置複写機能を使う | 95 | グリッド | 111 |
| 2-3 フォント | 97 | 中心線表示 | 111 |
| 外字作成 | 97 | 山形枠 | 111 |
| 1文字編集 | 97 | 4-2 ウィンドウ | 112 |
| 2-4 入力 | 98 | 4-3 切り換え | 112 |
| 2-5 整列 | 98 | 表入力 | 112 |
| | | 4-4 配置 | 112 |
| | | 4-5 ズーム | 113 |

ファイル

ここでは各機能をカテゴリー(ファイル、編集、高度な編集、表示)内の機能グループ(パネル)毎に説明します。

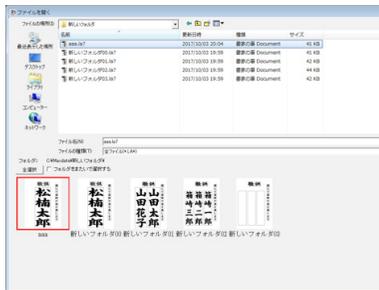
1-1 ファイル



| | |
|----------|---------------------------|
| 新規作成 | 新しいファイルを作成します。 |
| 開く | 保存されているファイルを開きます。 |
| 上書き保存 | 現在編集しているファイルを上書きで保存します。 |
| 名前を付けて保存 | 現在編集しているファイルを名前を付けて保存します。 |

開く

[開く]を押すとファイルを開く画面が起動されますので、開きたいファイルを選択してください。



を押して履歴からも選択可能です。

1-2 印刷

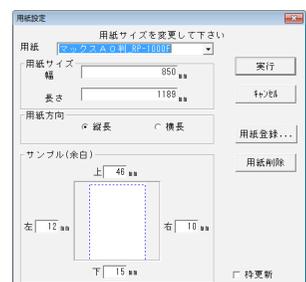
用紙設定



| | |
|-----------|---------------------|
| 用紙設定 | 編集する用紙の設定を行ないます。 |
| 印刷 | 印刷の設定を行ないます。 |
| 外字、家紋一覧印刷 | 作成した外字、家紋の一覧を印刷します。 |

[用紙設定]を押すと用紙設定画面が起動されますので、現在のレイアウトの用紙を設定できます。

枠更新:用紙を変更後、[枠更新]にチェックを入れると、比率に応じて文字枠のサイズを自動調整します。

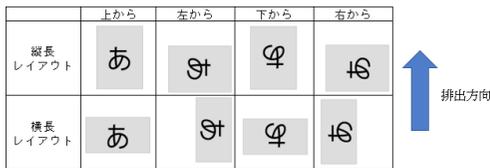


[印刷]を押すと印刷設定画面が起動されますので、印刷に関する設定を行います。
印刷プレビューは印刷設定を行うと表示できるようになります。



出力方向

印刷時の用紙の排出方向を設定します。



位置(縦)

印刷時のレイアウトの縦方向の位置調整を行います。



位置(横)

印刷時のレイアウトの横方向の位置調整を行います。



拡縮率

印刷時のレイアウトの倍率調整を行います。

※拡大の結果で印刷用紙をはみ出る場合はページ分割されます。



拡縮率(縦)100%
拡縮率(横)100%

拡縮率(縦)100%
拡縮率(横)200%

拡縮率(縦) 50%
拡縮率(横)100%

ファイル

変倍ボタン

現在の用紙が印刷用紙に収まるように拡大率を自動設定します。

例)現在の用紙がA3で印刷用紙がA5横の場合

拡大率 縦35% / 横70%

等倍ボタン

現在の用紙が印刷用紙に収まるように拡大率を自動設定します。

縦/横の拡大率が異なる場合、小さい方の値を適用します。

例)現在の用紙がA3で印刷用紙がA5横の場合

拡大率 縦35% / 横35%

回転

印刷時にレイアウトの回転を設定します。

※回転角度によって、印刷範囲からはみ出た部分は印刷されません。

| | 回転=0° | 回転=90° | 回転=180° | 回転=270° |
|-------------|-------|--------|---------|---------|
| 縦長 レイアウト | | | | |
| 横長 レイアウト | | | | |

通常出力/プロッタ出力

●通常出力

一般的なプリンタ(レーザープリンタ、インクジェットプリンタ、サーマルプリンタ等)を使用する場合に選択してください。

●プロッタ出力

カッティングプリンタなど、アウトラインデータを使用して印刷する出力機を使用する場合に選択します。

●「文字が重なり白抜けする場合チェックしてください。」

チェックを入れると重なりあった部分を「白抜け」ではなく、「塗り潰し」にすることができます。

外字、家紋一覧印刷

ユーザーが作成した外字または家紋を一覧表で印刷することができます。

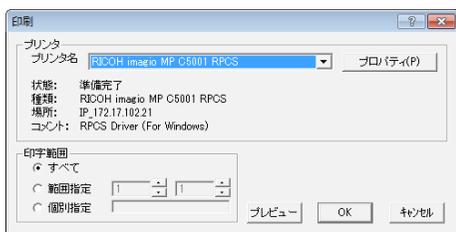
一覧印刷を行う

1 [外字、家紋一覧印刷]を押すと、外字、家紋一覧印刷画面が起動します。

- 印刷する枠サイズを、20mm～100mmの範囲で設定します。



2 設定を行い、[印刷]を押して印刷画面を起動します。



プリンタ名：一覧印刷するプリンタを選択します。

すべて：選択した外字または、家紋のユーザー作成成分をすべて印刷します。

範囲指定：印刷するページ範囲を選択します。

個別指定：印刷するページを個別に指定します。

(ページ間はカンマ区切りです。)

ファイル

1-3 保存先



レイアウトファイルと文字枠へ入力されている文字のCSVデータを、印刷実行時に保存することができます。保存先は、フォルダ名を指定して保存することができます。これにより、葬家単位で供物札のレイアウトを管理したりして帳票発行に役立てたりすることができます。

発行履歴の保存先を指定する

メインメニューの[環境設定]-[フォルダ設定]をクリックし、発行履歴保存先で保存先を指定します。保存したい内容にチェックを入れ、ファイル更新の期限を設定します。期限の過ぎたフォルダは印刷時に選択できなくなります。



保存先フォルダを作成する

レイアウトファイルを保存するフォルダを作成します。「保存先登録」画面より、保存先フォルダ名を入力して登録します。



- 1 ファイルタブをクリックし、保存先パネル内の[保存先設定]-[登録]をクリックすると、保存先登録画面が起動します。
- 2 保存先フォルダ登録画面に、保存するフォルダ名を入力し、[保存]ボタンを押せば、環境設定の発行履歴保存先に選択されている場所へ、フォルダが作成されます。



印刷前に保存先フォルダを選択する

ファイルタブの保存先パネルにある、保存先選択ボックスより、登録されているフォルダ名を選択します。

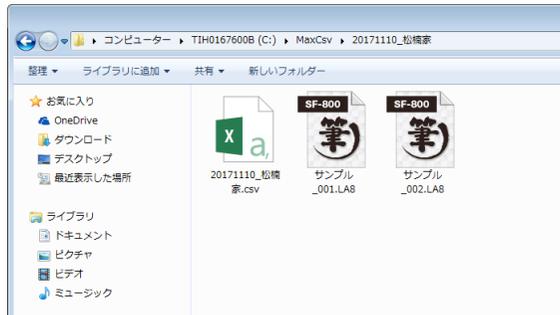
※環境設定で設定してある、発行履歴保存の保存期限を過ぎたフォルダは選択できません。

保存先フォルダを作成しなおしてください。



印刷を実行して、レイアウトファイルを保存する

印刷を実行する事で、選択している保存先にレイアウトファイルとCSVデータが保存されます。



1-4 ヘルプ

取扱い説明書、バージョン情報を表示します。



編集

2-1 編集



| | | |
|------|-------|--------------------------------|
| 選択 | 選択 | クリックすることでオブジェクトを選択できます。 |
| | すべて選択 | 全てのオブジェクトを選択します。 |
| | 逆指定 | 選択したオブジェクト以外のすべてのオブジェクトを選択します。 |
| 切り取り | | 選択範囲を切り取ります。 |
| コピー | | 選択範囲をコピーします。 |
| 貼り付け | | 選択範囲を貼り付けます。 |
| 元に戻す | | 直前の操作を取り消します。 |
| やり直し | | 「元に戻す」で取り消した操作をやり直します。 |

2-2 枠作成



| | |
|--------|------------------------|
| 文字枠 | 文字枠を作成します。 |
| 家紋枠 | 家紋枠を作成します。 |
| 日付枠 | 日付枠を作成します。 |
| 図形 | 直線・矩形・楕円・多角形の図形を挿入します。 |
| 席札配置複写 | 基準となるレイアウトを用紙に自動配列します。 |

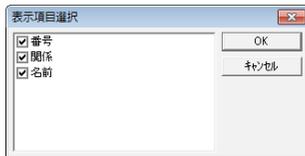
席札配置複写機能を使う

1 [ファイル]-[用紙設定]で席札など使用する用紙を選択します。

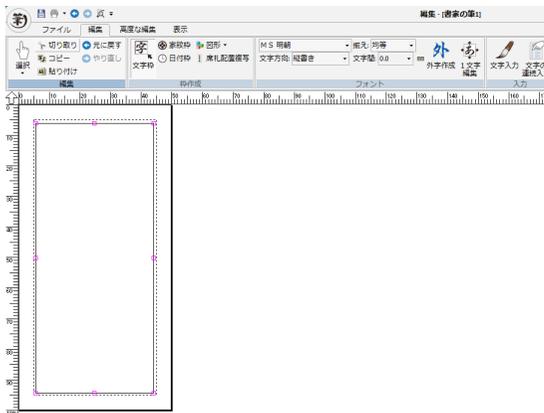
2 リストファイルを読み込みます。

[高度な編集]-[リストファイル]-[開く]で読みみたいリストファイルを選択します。

表示項目選択画面で必要な列にチェックを入れて、[OK]をクリックするとリストファイルが表示されます。



3 文字枠を作成します。作成した文字枠をダブルクリックし文字入力画面を表示させ、[フィールド名称]欄からリストファイルの項目を選択して[OK]をクリックします。

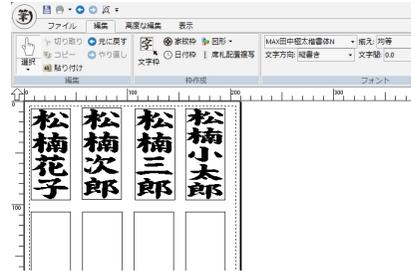
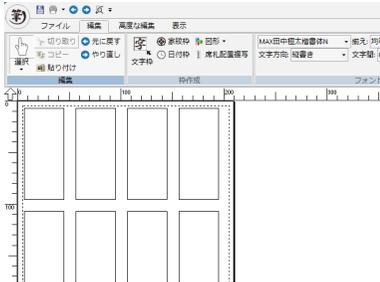


4 [席札配置複写]をクリックし、印刷する用紙サイズや並びの間隔等を設定し、[OK]を押します。

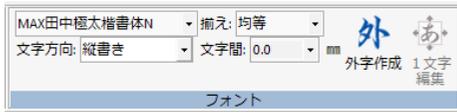


編集

- 5 面付けされたレイアウトが表示されたら、データを流し込みたい文字枠を選択し、画面上のデータをクリックすると、選択した文字枠へデータが入力されます。



2-3 フォント



| | |
|-------|--|
| フォント | 文字枠で使用するフォント(書体)を設定します。 |
| 文字方向 | 文字の方向を設定します。 |
| 揃え | 枠の領域への文字の配置方法を設定します。 |
| 文字間 | 文字間隔を設定し、文字位置を調整します。 |
| 外字作成 | 外字編集画面を起動して、外字の作成を行います。 |
| 1文字編集 | 文字の方向を設定します。バランスを調整するため、1文字だけ位置やサイズを変更します。 |

外字作成

外字を編集し保存することで、外字を作成することができます。

詳細はP●●の「外字を作成する」を参照してください。

1文字編集

1文字単位で文字サイズと文字位置を調整できます。



1文字の拡大または縮小を行います。

| | | |
|----|----|--------------------------|
| 拡縮 | 拡大 | 文字を設定している率(%)で拡大します。 |
| | 縮小 | 文字を設定している率(%)で縮小します。 |
| | 横拡 | 文字を設定している率(%)で横方向に拡大します。 |
| | 横縮 | 文字を設定している率(%)で横方向に縮小します。 |
| | 縦拡 | 文字を設定している率(%)で縦方向に拡大します。 |
| | 縦縮 | 文字を設定している率(%)で縦方向に縮小します。 |

1文字の位置を移動します。

| | | |
|----|----|--------------------------|
| 位置 | 上へ | 文字を設定している距離(mm)で上へ移動します。 |
| | 下へ | 文字を設定している距離(mm)で下へ移動します。 |
| | 左へ | 文字を設定している距離(mm)で左へ移動します。 |
| | 右へ | 文字を設定している距離(mm)で右へ移動します。 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| OK | 拡縮、位置の編集内容を反映し、1文字編集画面を閉じます。 |
| キャンセル | 拡縮、位置の編集内容を反映せず、1文字編集画面を閉じます。 |
| 適用 | 1文字編集画面を表示したまま、拡縮、位置の編集内容を反映します。 |

編集

2-4 入力



| | |
|---------|-----------------------------|
| 文字入力 | 選択した枠の文字入力を行います。 |
| 文字の連続入力 | 選択しているすべての文字枠へ連続して文字を入力します。 |

文字入力・文字の連続入力の詳しい操作はP59「文字入力」、P60「文字枠へ文字の連続入力をする」を参照してください。

2-5 整列



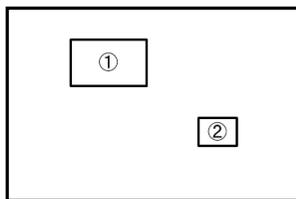
| | |
|-----------|------------------------------------|
| ページ基準 | 揃える基準をページ基準か選択した枠かを選択します。 |
| 揃え | 選択中のオブジェクトの位置やサイズを調整します。 |
| グループ化 | 複数のオブジェクトをグループ化して1つのオブジェクトとして扱います。 |
| 移動禁止(ロック) | レイアウト上でのオブジェクトの移動を禁止します。 |

ページ基準

ページ基準： 選択中のオブジェクトをひとつの枠とみなし、ページの印刷領域に接するように位置合わせをします。

選択枠基準： 先に選択したオブジェクトを基準に、その他の選択したオブジェクトの位置を変更します。

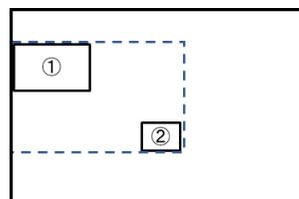
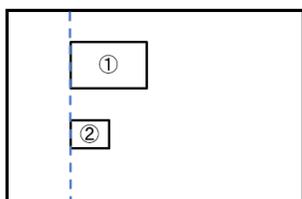
下記のレイアウトを元に揃えについて説明します。

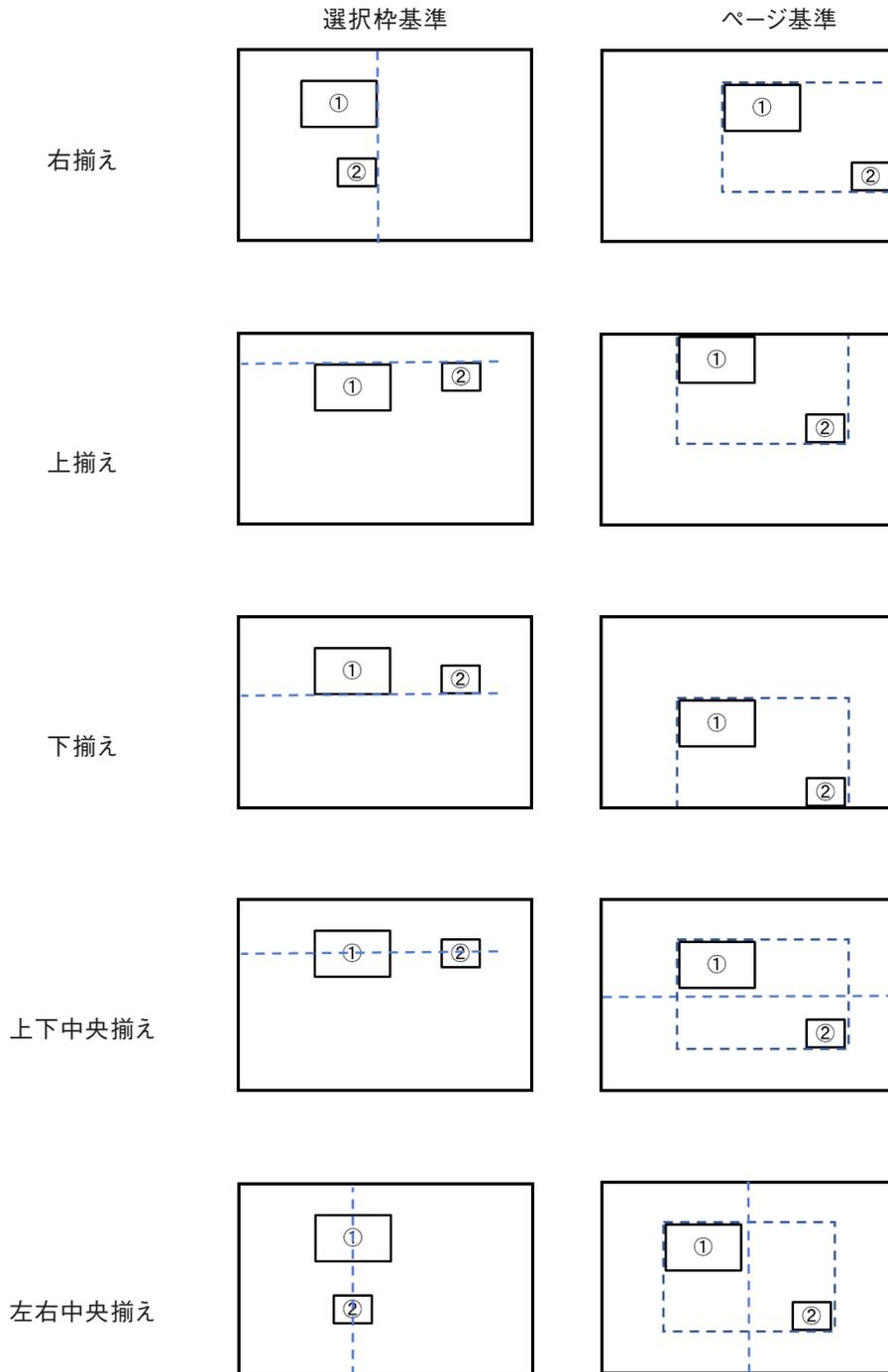


選択枠基準

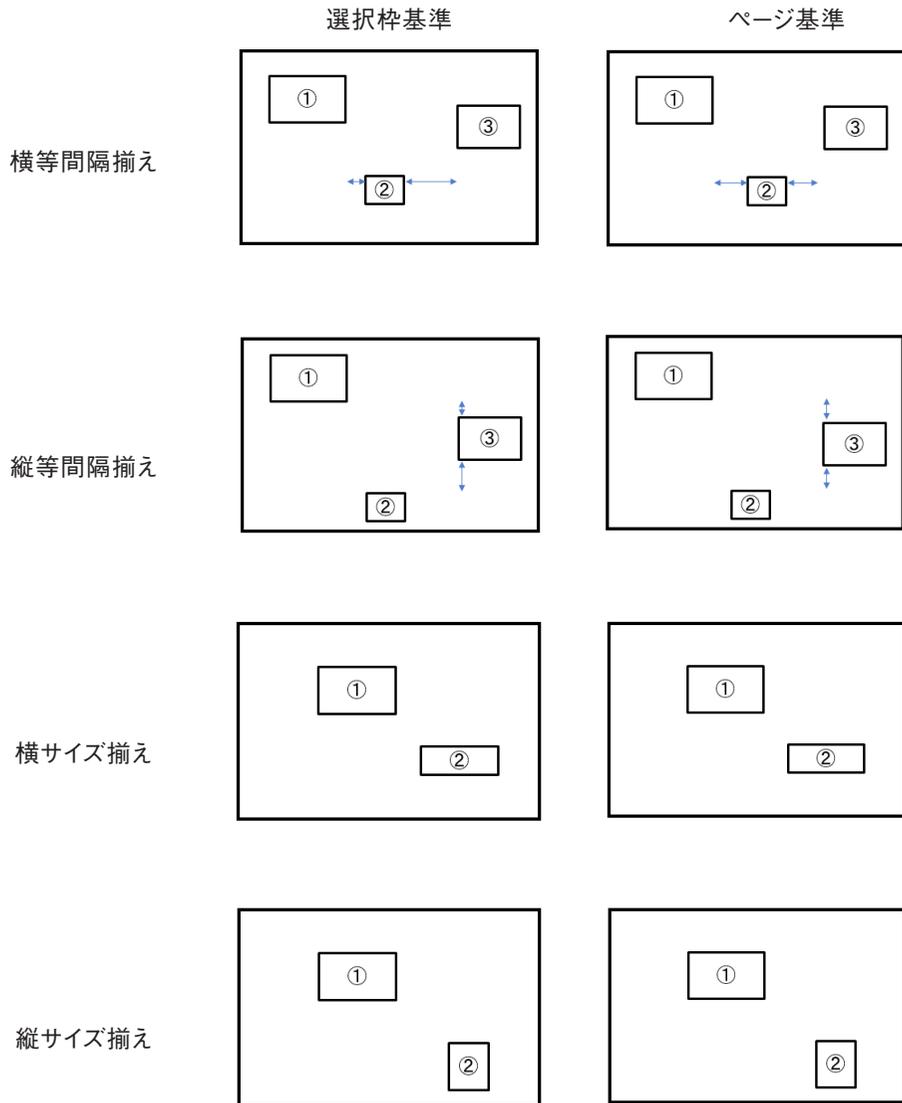
ページ基準

左揃え



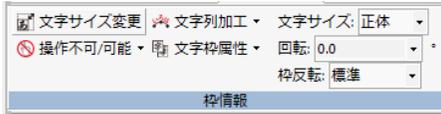


編集



高度な編集

3-1 枠情報



| | |
|---------|------------------------------|
| 文字サイズ変更 | 文字サイズを指定したサイズに変更します。 |
| 操作不可/可能 | 操作対象から外したり、戻したりします。 |
| 文字列加工 | 文字列を円弧に沿って並べたり、影をつけたり装飾させます。 |
| 文字枠属性 | 文字枠属性のコピー、貼り付けを行います。 |
| 文字サイズ | 文字の縦横比率を設定できます。 |
| 回転 | 設定した角度に合わせて文字枠を回転させます。 |
| 枠反転 | 文字枠を反転させます。 |

3-2 画像



| | |
|----------|---------------------------|
| 画像編集 | 画像を読み込んで、編集を行うことができます。 |
| 背景画像編集 | 背景画像の明るさ等を背景画像編集画面で調整します。 |
| 背景画像読み込み | 背景画像にする画像を読み込みます。 |
| 背景画像化 | 編集している画像を背景画像化して貼り付けます。 |

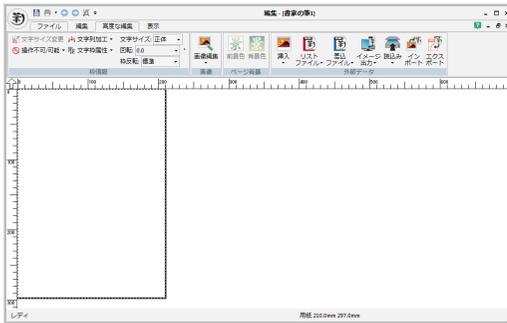
高度な編集

画像を編集する

画像を読み込んで、切り取り、ぼかしなどの編集を行うことができます。

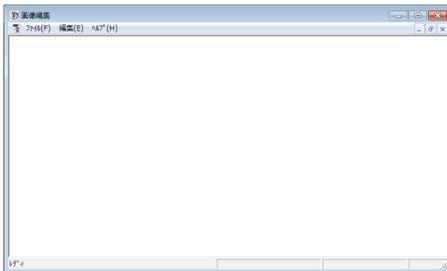
画像編集画面を起動する

編集画面の「高度な編集」タブの「画像」パネルの「画像編集」を選択します。



編集したい画像を取り込む

画像編集画面の「ファイル」メニューから「開く」を選択して、取り込みたい画像を選択します。



画像を編集する

取り込んだ画像を、矩形や円形で範囲選択したり、範囲内の画像をぼかしたりすることができます。

選択

画像編集画面の「編集」メニューから、4種類の選択方法を選びます。



| | |
|------|-------------------------|
| 全選択 | 表示している画像をすべて選択します。 |
| 矩形選択 | 四角形で選択範囲を指定します。 |
| 円形選択 | 円形で選択範囲を指定します。 |
| 自由選択 | ドラッグすることで選択するエリアを指定します。 |

ぼかし

画像編集画面の「編集」メニューから、2種類のぼかし方法を選びます。

ぼかす度合は、スライダーまたは数値入力により設定が可能です。



全体ぼかし

| | |
|-------|--------------------|
| 全体ぼかし | 選択している画像全体をぼかします。 |
| 周囲ぼかし | 選択している画像の周囲をぼかします。 |



周囲ぼかし

高度な編集

明るさ・コントラスト

画像編集画面の「編集」メニューから、明るさ調整とコントラスト調整を行うことができます。各度合は、スライダーまたは数値入力により設定が可能です。



明るさ調整 明るさを調整します。

コントラスト調整 コントラストを調整します。

切り取り・コピー・貼り付け

画像編集画面の「編集」メニューから、切り取り、コピー、貼り付けを行うことができます。

切り取り 選択している画像を切り取ります。

コピー 選択している画像をコピーします。

貼り付け コピーまたは切り取った画像を貼り付けます。

画像を保存する

書家の筆のレイアウトで使用するために、編集した画像を保存します。「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択すると、編集した画像を保存することができます。保存形式は、jpgまたはbmp形式です。

背景画像を作成する

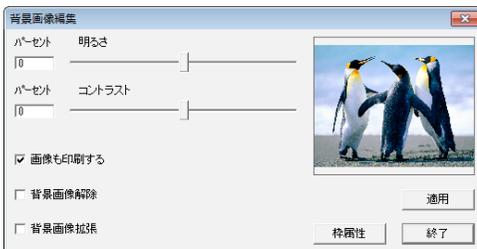
- 1 **[背景画像読み込み]**を押し、**イメージ読み込み画面**を起動させます。
複数の画像を読み込み、背景画像にすることもできます。



- 2 **読み込む画像**を選択して、**[開く]**をクリックします。
- 3 **背景画像編集画面**が表示されるので、**編集**を行います。

メモ

複数の背景画像を取り込んでいる場合、背景画像を選択しなおすことで、編集する対象の画像が切り替わります。



| | |
|---------|--------------------------------|
| 明るさ | 明るさを調整します。 |
| コントラスト | コントラストを調整します。 |
| 画像も印刷する | チェックを入れると、印刷する際に背景画像も印刷されます。 |
| 背景画像解除 | チェックを入れると、背景画像ではなく画像として扱われます。 |
| 背景画像拡張 | チェックを入れると、用紙サイズ全面に背景画像が拡張されます。 |

背景画像編集画面の**[枠属性]**をクリックすると、画像の位置やサイズの設定を数値で行うことができます。

- 4 **画像**を選択して、**[背景画像化]**をクリックすると、**画像が背景画像**になります。

高度な編集

3-3 ページ背景

文字や図形に使用する色を設定します。



| | 前景色 | 背景色 |
|-----|-------|---------|
| 文字枠 | 文字の色 | 背景塗りつぶし |
| 図形枠 | 塗りつぶし | 枠線の色 |

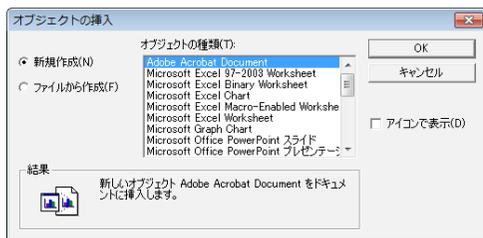
3-4 外部データ



| | |
|---------|--------------------|
| 挿入 | 画像・オブジェクトを挿入します。 |
| リストファイル | リストファイルを設定します。 |
| 差込ファイル | 差込ファイルを設定します。 |
| イメージ出力 | イメージを保存します。 |
| 読み込み | スキャナ・ファイルから読み込みます。 |
| インポート | 外部ファイルを読み込みます。 |
| エクスポート | 外部ファイルに書き込みます。 |

挿入

Excelの表やPowerPointのスライドなどのOLEオブジェクトを貼り付けることができます。
[挿入]-[オブジェクト]をクリックすると、オブジェクトの挿入画面が表示されます。



新規作成の場合：オブジェクトの種類を選択し、[OK]を押すと、オブジェクトが挿入されます。

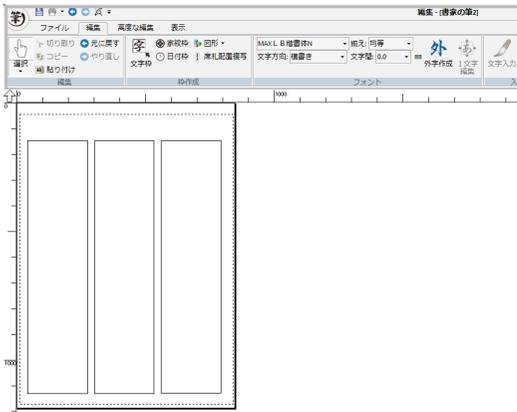
ファイルから作成：[参照]をクリックし、オブジェクトファイルを読み込み、[OK]を押すと、オブジェクトが挿入されます。

リストファイル

印刷したいデータ(ExcelやCSVなどのデータ)を読み込んで、レイアウトに配置した文字枠へデータを一気に流し込むことができます。

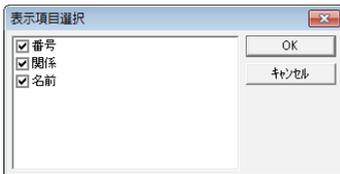
リストファイルを使って、レイアウトデータを作成する

- 1 レイアウトファイルを開く、または作成します。

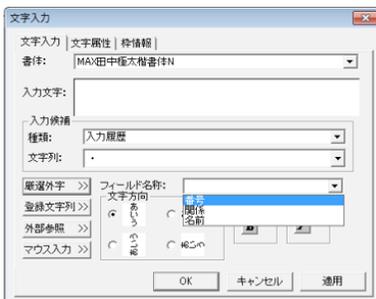


- 2 リストファイルを読み込みます。

[高度な編集]-[リストファイル]-[開く]で読込みたいリストファイルを選択します。
表示項目選択画面で必要な列にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

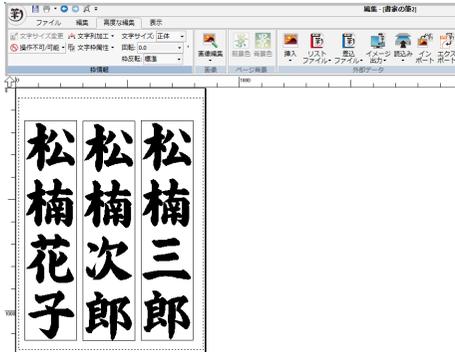


- 3 文字枠をダブルクリックし文字入力画面を表示させ、フィールド名称欄からリストファイルの項目名を選択します。



高度な編集

- 4 データを流し込みたい文字枠を選択し、画面上のデータをクリックすると、選択した文字枠へデータが入力されます。

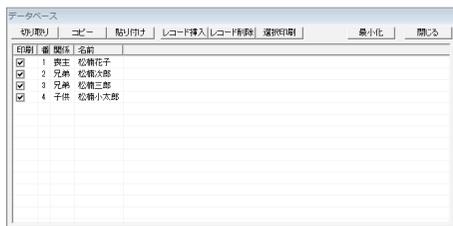


差込ファイル

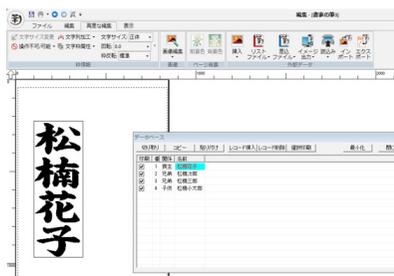
印刷したいデータ(ExcelやCSVなどのデータ)を読み込んで、レイアウトに配置した文字枠へデータを差込ながら印刷することができます。

差込ファイルを使用して、レイアウトを作成する

- 1 差込ファイルを読み込みます。
[高度な編集]-[差込ファイル]-[開く]で読込みたい差込ファイルを選択し、データベース画面を表示します。



- 2 印刷に使用したい列のヘッダ(タイトル)を選択し、文字枠を作成する場合と同様にレイアウト枠内でドラッグすると、データが差し込まれます。



- 3 データが差し込まれている状態で、データベースの列のヘッダ(タイトル)を選択すると、差し込む文字が変更されます。
印刷したいデータベースの左端にチェックし、[選択印刷]を押すことで、選択したファイルのみ印刷することができます。

イメージ出力

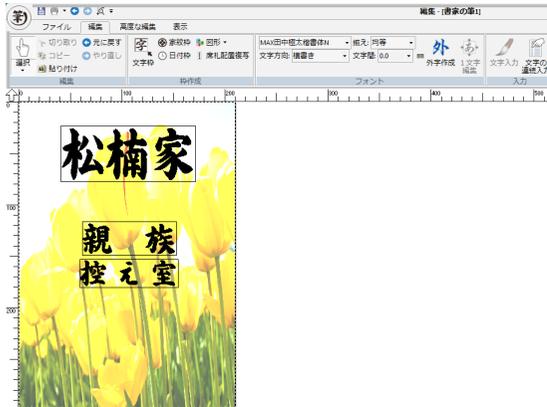
編集画面上で作成したレイアウトデータを、サイズ指定して保存します。
画像データをUSBメモリや液晶パネル用フォルダに送ることができます。

画像データを保存する

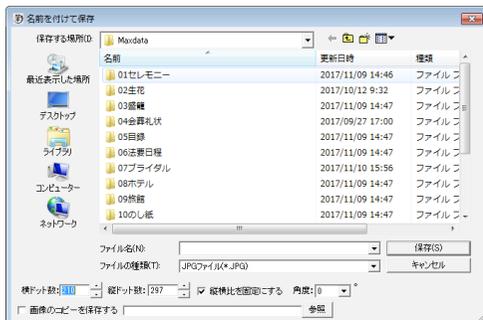
- 1 編集画面で、画像データを作成します。

メモ

背景画像として表示している画像を、画像データとして保存する場合、背景画像編集画面の[画像も印刷する]にチェックを入れる必要があります。



- 2 [高度な編集]-[イメージ出力]-[名前を付けて保存]をクリックします。
名前を付けて保存画面が表示されるので、画像データのファイル名と縦横のドット数を入力し[保存]をクリックします。



高度な編集

読み込み

| | |
|------------|---------------------------------|
| シンボル読み込み | 指差しや矢印などのシンボルを読み込んで使用することができます。 |
| ファイルから読み込み | ファイルから画像を読み込みます。 |
| スキャナ読み込み | スキャナから読み込んだ画像を貼り付けることができます。 |

インポート

ファイルから画像を読み込みます。

エクスポート

作成した図形をEPSファイルに変換して保存することができます。

表示

4-1 表示



グリッド

方眼紙のように、一定間隔でドットを表示します。



グリッド表示

チェックを入れるとグリッドを表示します。

グリッド有効

チェックを入れると、オブジェクトの移動やサイズ変更時、グリッドに吸着するようになります。

グリッド間隔

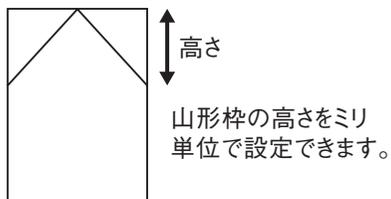
グリッドの間隔をミリ単位で設定します。

中心線表示

クリックをすると用紙の縦横の中心に直線を表示します。

山形枠

用紙の上辺の中央を起点に、山形となるような補助線を表示します。



高度な編集

4-2 ウィンドウ



| | |
|-------------|---------------------|
| 新しいウィンドウを開く | 作業中のレイアウトの複製を作成します。 |
| 整列 | ウィンドウを整列します。 |
| アイコンの整列 | 最小化しているウィンドウを整列します。 |
| ウィンドウの切り換え | ウィンドウを切り換えます。 |

4-3 切り替え



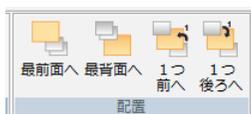
表入力

表入力画面にて編集時に[表示]をクリックすると、編集画面が起動し、レイアウト修正ができるようになります。その際に表入力画面に戻る時にクリックして[表入力]画面に戻ります。

再表示

再表示を行います。

4-4 配置



最前面へ

オブジェクトを最前面に移動します。

最背面へ

オブジェクトを最背面に移動します。

1つ前へ

オブジェクトを1つ手前へ移動します。

1つ後ろへ

オブジェクトを1つ後ろへ移動します。

4-5 ズーム



拡大縮小表示

クリックするとカーソルが  虫眼鏡カーソルに切り替わります。
この状態でマウスの左クリックをすると拡大表示、右をクリックすると縮小表示となります。

全体表示

印字領域がレイアウト編集画面の全体に表示されるようになります。

第4章

その他の機能

| | |
|--------------------|-----|
| 差込印刷をする | 116 |
| 差し込みレイアウトを作成する | 116 |
| 差し込みCSVデータを作成する | 117 |
| 差込印刷を起動する | 117 |
| 差込内容を作成する | 118 |
| 差し込むレイアウトファイルを読み込む | 119 |
| 発行履歴保存を行う | 120 |
| 印刷を行う | 120 |
| 表入力をする | 122 |
| 表入力を起動する | 122 |
| レイアウトを参照する | 123 |
| 文字を入力して印刷を実行する | 124 |
| 一括印刷をする | 126 |
| ミニ印刷をする | 126 |
| 一括印刷をする | 128 |
| 目録印刷をする | 129 |
| CSV出力をする | 131 |

差込印刷をする

ひとつのレイアウトファイルに、複数の文字データを差し替えて、連続して印刷することができます。下図の場合、「敬供」と「謹んで哀悼の意を表します」は共通で、その他の文字枠が可変の文字枠となっています。この可変の文字枠へデータを流し込んで一度に印刷することを差込印刷と呼びます。

テンプレート
(レイアウトデータ)



印刷結果①
No.1のデータを使用



印刷結果②
No.2のデータを使用



印刷結果③
No.3のデータを使用

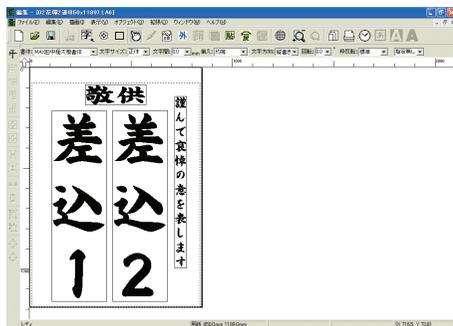


| NO | 名前1 | 名前2 |
|----|------|------|
| 1 | 松楠太郎 | 松楠次郎 |
| 2 | 山田太郎 | 山田花子 |
| 3 | 箱崎一郎 | 箱崎二郎 |

差し込みレイアウトを作成する

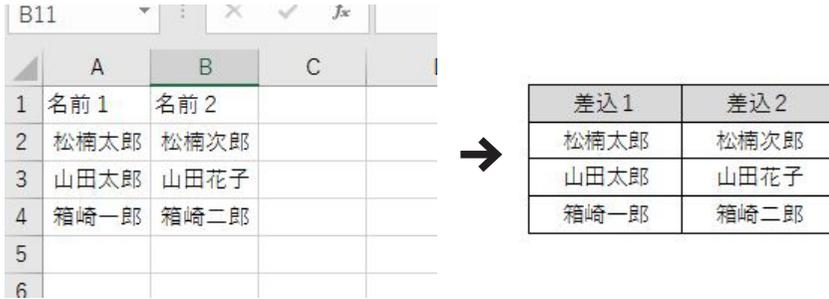
差込入力を行うためには、元となる差し込みファイルを作成する必要があります。書家の筆でレイアウトを新規に作成し、差し込みたい文字枠へ「差込」+「数字」(例:「差込1」、「差込2」)と入力してください。

レイアウトファイルを作成したあと、名前を付けて保存します。



差し込むCSVデータを作成する

差し込むデータは、CSV形式のデータが使用できます。Excelで作成したデータをCSVに変換して保存してください。データを取り込んだ際に、1行目の内容は削除され、自動的に「差込1」「差込2」・・・と項目が割り振られます。



差込印刷を起動する

メインメニューの「差込印刷」を選択します。手入力で作成したデータの場合、項目／件数の設定画面で、差し込む項目数と件数を入力します。



| | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 差込1 | 差込2 | 差込3 | 差込4 |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |

| 項目 | 説明 | | |
|----------|----------------|----------------------|----------------------|
| ファイル | 新規作成 | 新規にファイルを作成 | |
| | 開く | 既存のファイルを開く | |
| | レイアウトファイルの読み込み | レイアウトファイルの読み込み | |
| | 上書き保存 | 開いたファイルに上書き保存 | |
| | 名前を付けて保存 | 作業中のファイルを新しい名前で保存 | |
| | 印刷 | 印刷 | |
| | 面付け印刷 | 面付け印刷を行います | |
| | テキストの印刷 | テキストデータを印刷します | |
| | メインメニューに戻る | 差込印刷を終了します | |
| | 編集 | 切り取り | 選択範囲を切り取ってクリップボードに保存 |
| コピー | | 選択範囲をコピーしてクリップボードに保存 | |
| 貼り付け | | クリップボードの内容を貼り付け | |
| 行と列の入れ替え | | 行と列を入れ替え、1行目を削除 | |
| 保存先設定 | | 登録 | 保存先を登録 |
| | | 登録レイアウトの削除 | 保存先に登録したレイアウトを削除 |
| 文字 | 登録文字の入力 | 登録文字を入力 | |
| | 外字の入力 | 外字の入力 | |
| 書式 | 項目/件数の設定 | データの項目数と件数を設定 | |
| | 項目の追加 | 項目の追加 | |
| | 件数の追加 | 件数の追加 | |
| | 件数の削除 | 件数の削除 | |
| 出力先指定 | 出力先指定 | 差込データを複数のプリンタで分散して印刷 | |
| ヘルプ | 表入力のバージョン情報 | バージョンを表示 | |

差込印刷をする

差込内容を作成する

差込印刷する文字データはデータエリアに直接入力するか、「ファイル」→「CSVファイルから読み込む」ことができます。

直接入力の場合

入力したいセルを選択し、編集BOXに文字を入力します。横列がレイアウトファイルで作成した差し込む文字枠となり、縦列が読込件数となります。

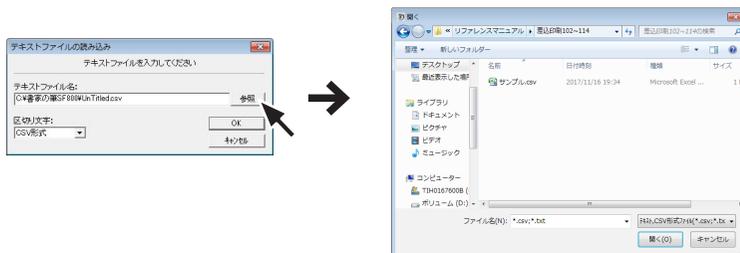


CSVファイルから読み込む場合

- 1 「ファイル」メニューから「開く」を選択し、テキストファイルの読み込み画面を表示させます。



- 2 テキストファイルの読み込み画面の[参照]をクリックして、読み込むCSVファイルを選択します。



- 3 テキストファイルの読み込み画面の[OK]をクリックします。

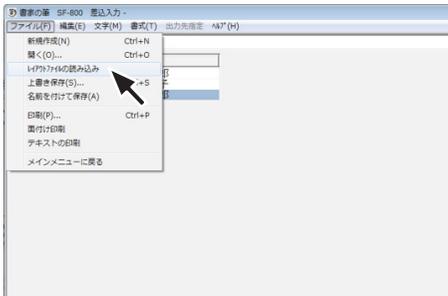
差し込みに差し込みデータが入力されます。



差し込むレイアウトファイルを読み込む

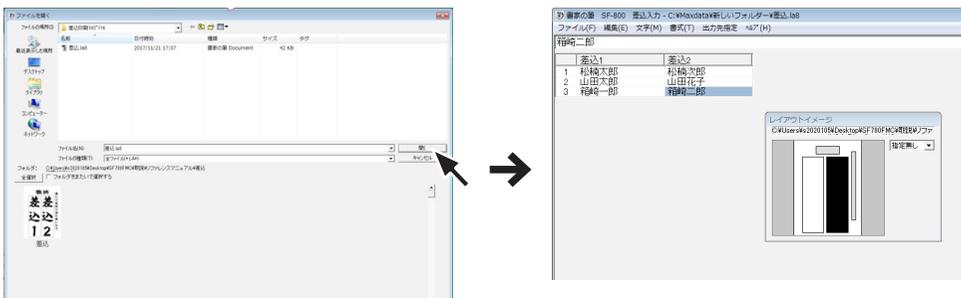
事前に作成した差しレイアウトファイルを読み込みます。

- 1 「ファイル」メニューから「レイアウトファイルの読み込み」を選択します。



- 2 ファイルを開く画面で、レイアウトファイルを選択して、[開く]をクリックします。

レイアウトファイルと差し込みデータが連動すると、レイアウトファイルのイメージが画面右下に表示され、選択している差し込項目が黒く反転します。



| 表示 | 説明 |
|------|------------------|
| 黒 | 選択されている差し込可能な文字枠 |
| 白 | 差し込可能な文字枠 |
| グレー | 差しできない文字枠 |
| 表示なし | 家紋など文字枠以外 |

差込印刷をする

発行履歴保存を行う

差し込み入力画面のレイアウトイメージより、レイアウトファイルを保存するフォルダ名を選択します。フォルダ名が登録されていない場合、「編集」メニューから「保存先設定」→「保存先フォルダの追加」を選択し、表示された画面で保存先フォルダ名を入力して登録します。



メモ

発行履歴保存先に保存されているレイアウトファイルへ差込印刷を行った場合、以下のいずれかを選択する画面が表示されます。

1. 印刷したファイルを[修正]して保存しなおす
2. [追加保存]する
3. [キャンセル]して保存しない

参照

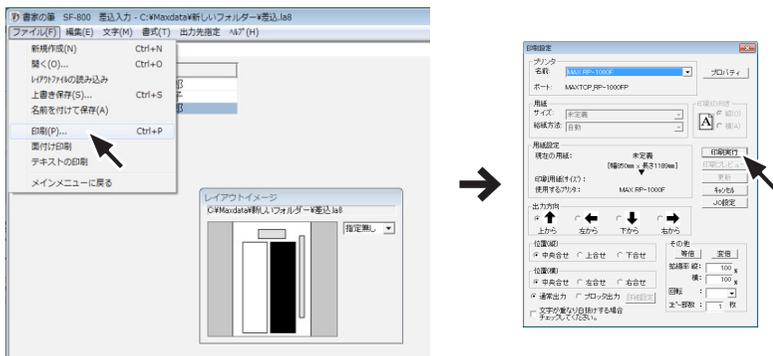
詳しくはP92「1-3 保存先」を参照してください。

印刷を行う

印刷は、1台のプリンタで行う方法と複数台のプリンタで分散印刷する方法があります。

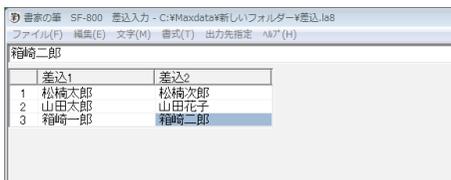
1台のプリンタで印刷する場合

1台のプリンタで印刷する場合は、「ファイル」メニューから「印刷」を選択し、印刷設定画面を表示させて、印刷を実行してください。



複数台のプリンタで分散印刷する場合

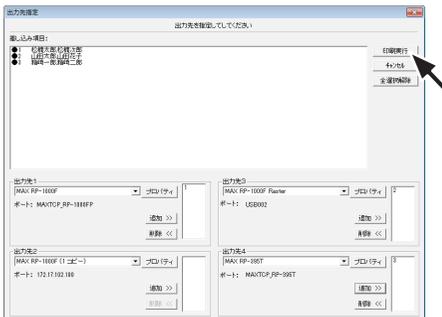
- 1 「出力先指定」メニューを選択して、出力先指定画面を表示させます。



- 2 出力先画面でプリンタを選択し、最大4台のプリンタへ1件ごと振り分けて、印刷することができます。差込項目を選択して、出力先ごとの[追加]をクリックすれば、各出力先に出力する内容が決定します。

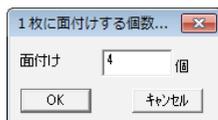


- 3 [印刷実行]をクリックすると、印刷が行われます。

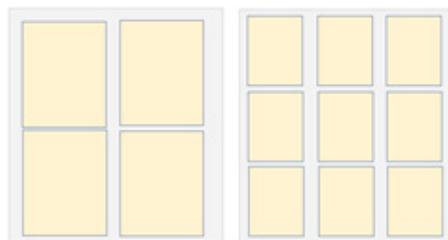


面付け印刷を行う

レイアウトを面付け(1枚に複数のレイアウトを配置)して印刷を行います。



「ファイル」-「面付け印刷」を選択し、1枚に面付けする個数画面を表示させて、面付けする個数を入力し、OKを押します。



面付け数

4個の場合

9個の場合

表入力をする

複数のレイアウトファイルに続けて文字データを入力し、連続して印刷することで作業の効率化が図れます。



表入力を起動する

表入力機能をメインメニューより起動します。

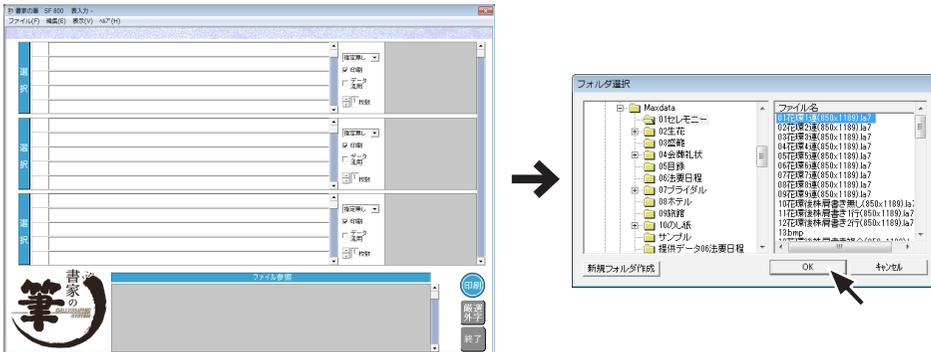


| | 項目 | 説明 | 参照 |
|------------|-------------|-----------------------|--------|
| ファイル | 一括保存 | 編集中の複数のレイアウトをまとめて保存する | |
| | 一括呼出 | 一括保存されたレイアウトを呼び出す | |
| | ファイル保存 | 指定されたフォルダに保存する | |
| | ファイル読込 | 指定されたフォルダのファイルを読み込む | |
| | 終了 | 表入力を終了する | |
| 編集 | 切り取り | 選択範囲を切り取ってクリップボードに保存 | |
| | コピー | 選択範囲をコピーしてクリップボードに保存 | |
| | 貼り付け | クリップボードの内容を貼り付け | |
| | 保存先設定 | 登録 | 保存先を登録 |
| 登録レイアウトの削除 | | 保存先に登録したレイアウトを削除 | |
| 表示 | 表示 | 編集画面を表示する | |
| ヘルプ | 表入力のバージョン情報 | バージョンを表示 | |

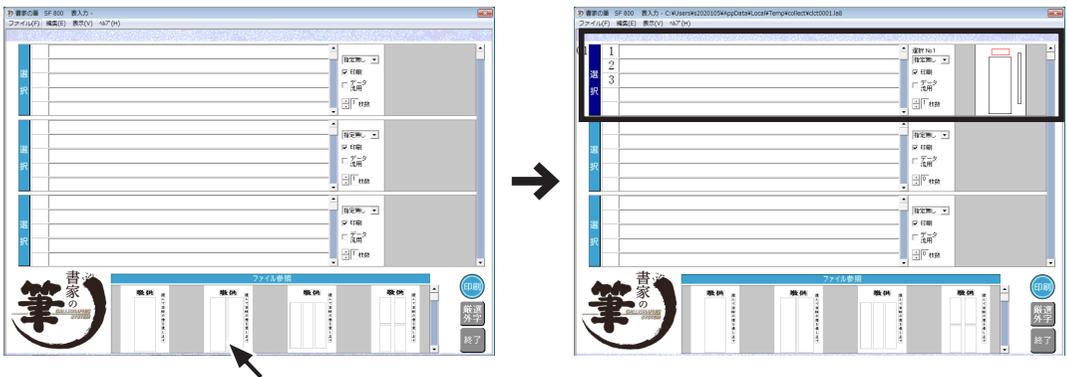
レイアウトを参照する

表入力画面より、レイアウトファイルを読み出し、手入力します。

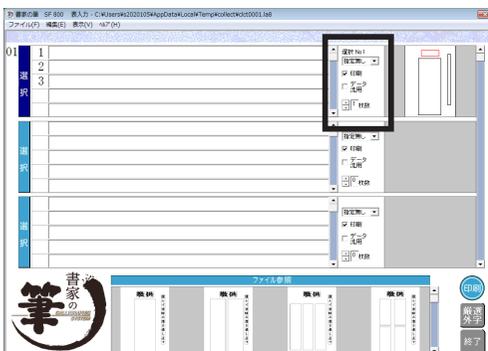
- 1 フォルダ選択画面で、参照するレイアウトファイルが格納されているフォルダを選択し、[OK]をクリックします。



- 2 [ファイル参照] 欄からレイアウトを選択すると、選択欄にレイアウトが反映します。



- 3 レイアウトの設定を行います。



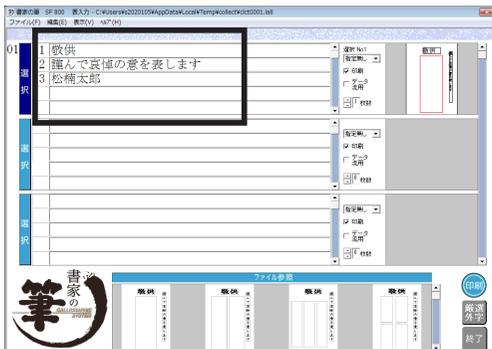
| 項目 | 説明 |
|-------|--|
| 選択 | 印刷時にレイアウトを保存する場所を選択します。 |
| 印刷 | 印刷するデータにチェックを入れます。 |
| データ流用 | 参照するレイアウトデータに入力されている文字を流用する場合、チェックを入れます。 |
| 枚数 | 印刷する枚数を設定します。 |

表入力をする

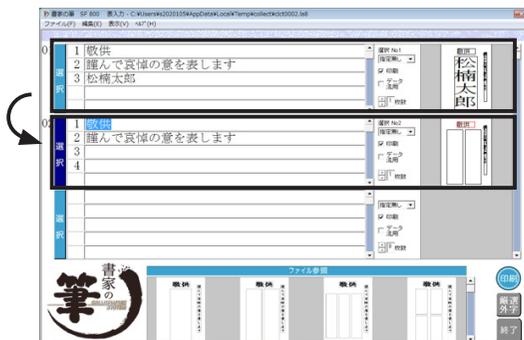
文字を入力して印刷を実行する

参照したレイアウトごとに文字を入力し、一括して印刷します。

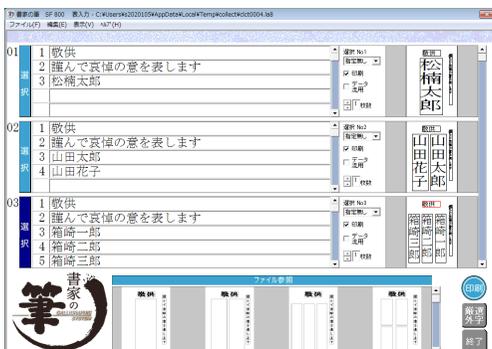
- 1レイアウトごと、文字を手入力してレイアウトを完成させます。



- 2 入力した文字は、Enterキーを押すごとに、レイアウトイメージへ反映され、次の行へカーソルが移動します。

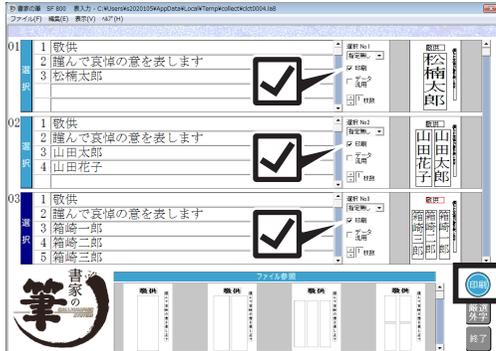


- 3 レイアウトの最終行でEnterキーを押すことで、参照するレイアウトをコピーして、次のレイアウトへ移ることができます。



4 印刷アイコンをクリックします。

印刷欄にチェックが入っているレイアウトのすべてが一度に印刷されます。



メモ

発行履歴保存先に保存されているファイルを参照して印刷を行った場合、以下のいずれかを選択する画面が表示されます。

1. 印刷したファイルを[修正]して保存しなおす
2. [追加保存]する
3. [キャンセル]して保存しない

参照

詳しくはP92「1-3 保存先」を参照してください。

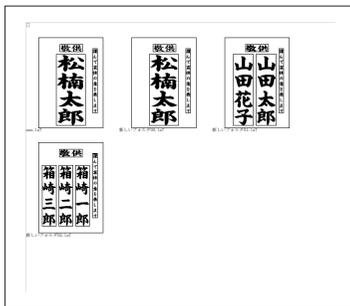
一括印刷をする

保存しているレイアウトファイルを小さいイメージで印刷する「ミニ印刷」機能、複数レイアウトを一括で印刷する機能などを使用することができます。



ミニ印刷をする

レイアウトファイルのイメージデータを一括印刷することができるので、供物札の印刷内容の確認や、納品時の供物札の確認作業で使用すると便利です。



- 1 メインメニューで【一括印刷】をクリックし、一括印刷選択画面から【ミニ印刷】を選択します。

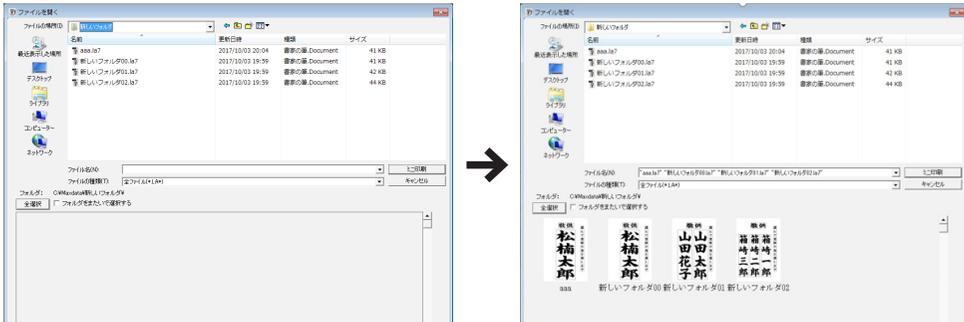
ミニ印刷機能が起動します。



2 ファイル選択画面から、ミニ印刷するレイアウトファイルを選択します。

メモ

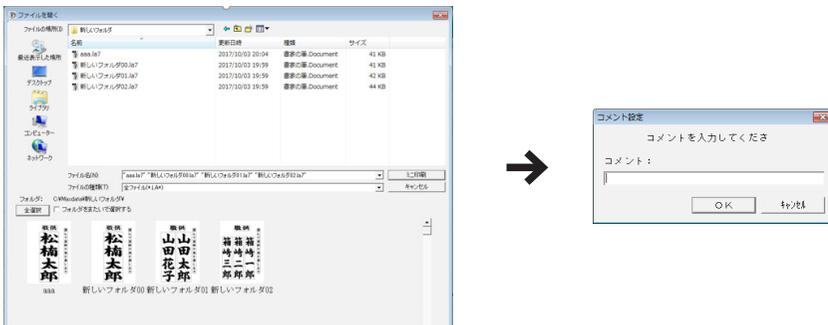
Ctrlキーを押しながら選択すると複数のレイアウトを選択できます。[全選択]をクリックすると、フォルダ内のレイアウトファイルをすべて選択することができます。
[フォルダをまたいで選択する]にチェックを入れると、フォルダをまたいでレイアウトファイルを選択することができます。



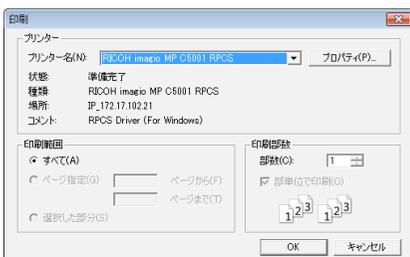
3 レイアウトファイルを選択している状態で、[ミニ印刷]をクリックすると、コメントを入力する画面が表示されるので、必要に応じてコメントを入力します。

メモ

コメントを入力すると、ミニ印刷時にコメントも印刷されます。



4 コメント入力後[OK]をクリックすると、印刷画面が表示されるので、[OK]をクリックして印刷を実行します。



以上で、ミニ印刷は完了です。

一括印刷をする

一括印刷をする

保存済レイアウトファイルを一括して印刷することができます。



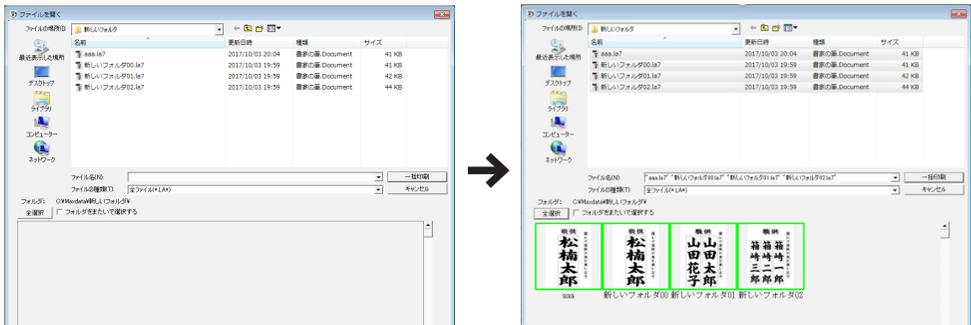
- 1 「ミニ印刷」と同様に一括印刷選択画面を起動し、[一括印刷]を選択すると、ファイル選択画面が表示されます。



- 2 ファイル選択画面より、一括印刷するレイアウトファイルを選択します。

メモ

Ctrlキーを押しながら選択すると複数のレイアウトを選択できます。[全選択]をクリックすると、フォルダ内のレイアウトファイルをすべて選択することができます。
[フォルダをまたいで選択する]にチェックを入れると、フォルダをまたいでレイアウトファイルを選択することができます。



- 3 レイアウトファイルを選択している状態で、[一括印刷]をクリックすると、印刷設定画面が表示されるので、プリンタを選択して、[印刷実行]をクリックして、印刷を実行します。



以上で、一括印刷は完了です。

目録印刷をする

保存済レイアウトファイルに入力している文字を目録として印刷することができます。



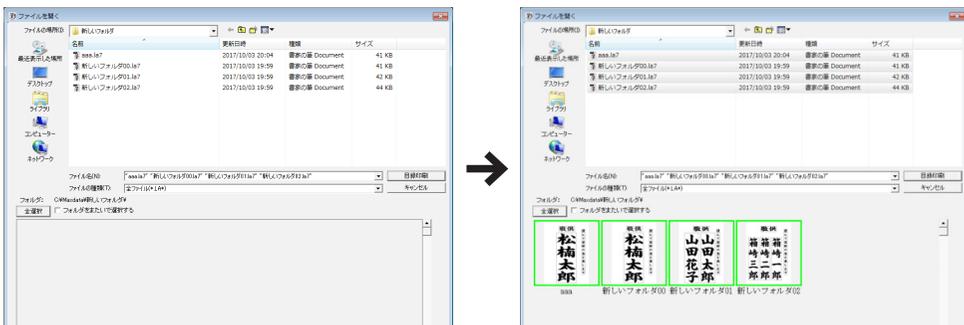
- 1 「ミニ印刷」と同様に、一括印刷選択画面を起動し、[目録印刷]を選択すると、ファイル選択画面が表示されます。



- 2 ファイル選択画面より、目録印刷するレイアウトファイルを選択します。

メモ

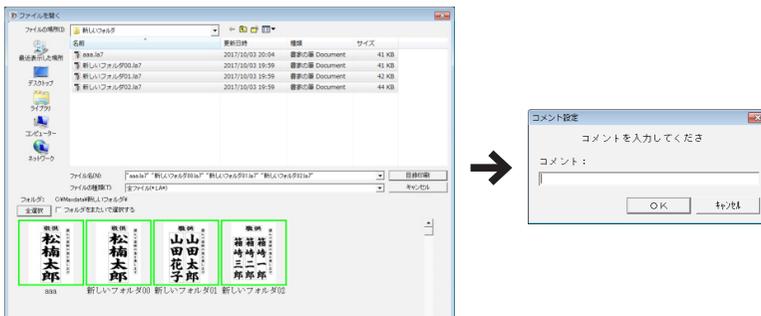
Ctrlキーを押しながら選択すると複数のレイアウトを選択できます。[全選択]をクリックすると、フォルダ内のレイアウトファイルをすべて選択することができます。
 [フォルダをまたいで選択する]にチェックを入れると、フォルダをまたいでレイアウトファイルを選択することができます。



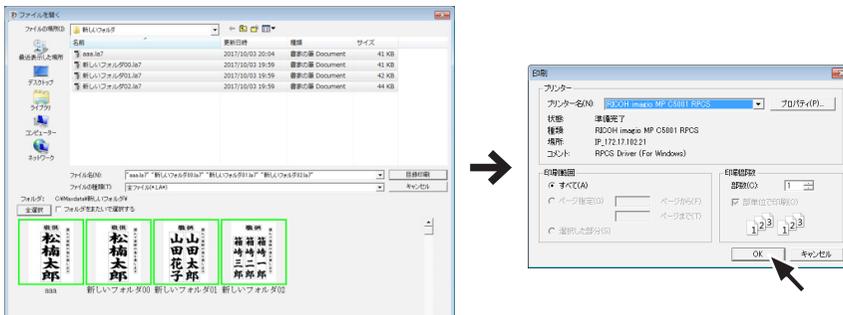
一括印刷をする

- 3 レイアウトファイルを選択している状態で、[目録印刷]をクリックすると、コメントを入力する画面が表示されるので、必要に応じてコメントを入力します。

メモ コメントを入力すると、目録印刷時にコメントも印刷されます。



- 4 コメント入力後 [OK] をクリックすると、印刷画面が表示されるので、[OK] をクリックして印刷を実行します。



以上で、目録印刷は完了です。

CSV出力をする

保存済レイアウトファイルに入力している文字を、CSVデータに出力することができます。

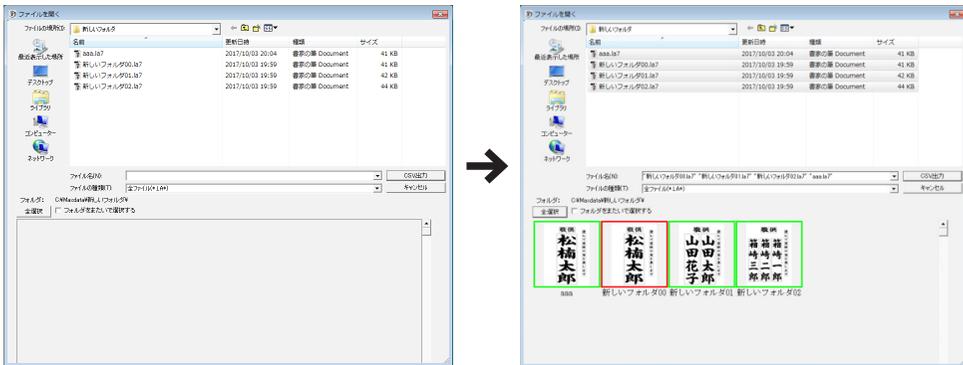
- 1 「ミニ印刷」と同様に、一括印刷選択画面を起動し、[CSV出力]を選択すると、ファイル選択画面が表示されます。



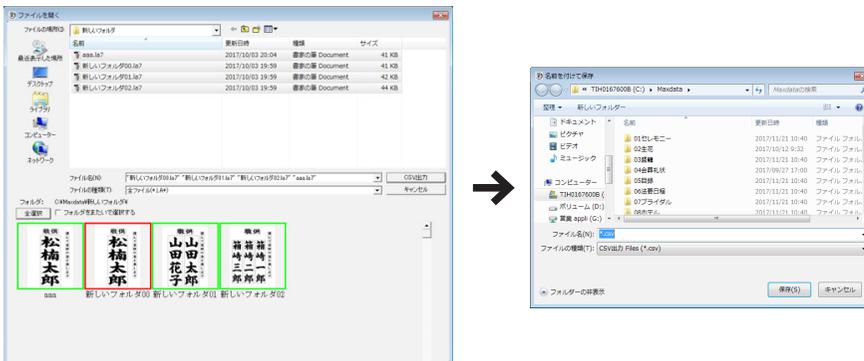
- 2 ファイル選択画面より、CSV出力するレイアウトファイルを選択します。

メモ

Ctrlキーを押しながら選択すると複数のレイアウトを選択できます。[全選択]をクリックすると、フォルダ内のレイアウトファイルをすべて選択することができます。[フォルダをまたいで選択する]にチェックを入れると、フォルダをまたいでレイアウトファイルを選択することができます。



- 3 レイアウトファイルを選択している状態で、[CSV出力]をクリックすると、名前を付けて保存画面が表示されるので、保存場所を決め、名前を付けて[保存]をクリックします。



一括印刷をする

- 4 コメントを入力する画面が表示されるので、必要に応じてコメントを入力し、[OK]をクリックすると、指定した保存場所へCSVファイルが保存されます。

メモ コメントを入力すると、CSV出力時にコメントも出力されます。



以上で、CSV出力は完了です。